

### Ⅲ 学校教育

#### 1 重点施策に係る主な事業

##### ○学ぶ喜びを味わわせる学習指導の推進

	事業	内容
①	学習指導 ・学校訪問 ・「指導のてびき」の作成	教員の指導力の向上と児童生徒の確かな学力の向上を目指して毎年学校訪問等の指導の機会を持ち、学習指導の充実を図る。また、「指導のてびき」を作成して全教職員へ配布する。
②	教育広報 ・「新座の教育だより」の発行 ・「教育研究 新座」の発行	「新座の教育だより」を発行し、教育行政の重点を通知したり、優れた実践を紹介したりする。また、年度の主任会の活動記録、研究協力員の研究等の教育実践を「教育研究 新座」にまとめ、全教職員へ配布する。
③	小学校社会科副読本、中学校地域教材資料集の編集発行	小学校社会科副読本「のびゆくにいぎ」（3年）・「のびゆく新座」（4年）、中学校社会科地域教材資料集「新座」を編集発行し、ふるさと新座に生きる児童生徒の郷土に対する理解と愛情を育み、郷土の一員としての自覚を高める。
④	情報教育の推進	小・中学校におけるコンピュータ・インターネット・50インチテレビ（小学校1～4年）・75インチ電子黒板（小学校5・6年及び中学校）・可動式PC端末等を活用した教育を充実させる。
⑤	環境教育の充実	総合的な学習の時間を始め、全教育活動を通して環境教育の推進を図る。
⑥	授業の活性化のための人材活用	学校教育の充実、授業の活性化、指導方法の工夫改善の多様化を図る方策の一つとして、地域の人材を講師として授業に積極的に活用する。
⑦	小・中学校音楽会 （令和6年度は中止）	演奏する喜びを味わわせるために、新座市民会館の大ホールで小・中学校の音楽発表会を実施する。
⑧	研究委嘱	児童生徒の個性を生かし、地域に根ざした特色ある教育を展開し、生きる力を育むことをねらいとして、市内各小・中学校に研究を委嘱する。23校全校委嘱。 また、令和3年度より、教職員が直面する様々な教育課題の解決のために必要な研究を個人・グループに委嘱する。その解決に向けた研究の成果を広く周知し、市内教職員の資質を向上させる。
⑨	「総合的な学習の時間」の推進	「総合的な学習の時間」の目標を実現するために、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動及び特別活動を含めた全教育活動の中で固有な見方・考え方を総合的に働かせた探学的な学習の指導が展開されるよう支援を行う。
⑩	学校教育農園・学校教育林の設置	学校教育農園・学校教育林での体験的学習を通して、児童生徒の情操を育むとともに学習と生活体験との一体化を図り、ふるさと新座を愛する市民の育成を図る。令和6年度も引き続き、学校ふるさと支援事業として、学校教育農園を市内全小・中学校に設置する。学校教育林も小学校4校に設置する。
⑪	小学校第1学年副担任配置	入学期において、集団行動ができる子ども、できない子ども、学習の状況などに大きな違いが見られる。複数の教師により、児童の基本的な学習習慣や生活習慣の確立を図り、自立の基礎

	を培うことを目的として、副担任を配置する。令和6年度は、11校、13名を配置する。
--	---

○生徒指導・進路指導の充実

	事業	内容
①	教育相談の視点をふまえた生徒指導の充実 特別支援教育の推進	生徒指導主任研修会と学校教育相談主任研修会を一つに統合し、市内児童生徒の非行問題、不登校やいじめ等について、より広い視点から情報交換を行い、具体的な対策等について協議する。 さらに、学校訪問等により、各学校の生徒指導や特別支援教育の諸課題等を把握し指導助言を行う。
②	進路指導・キャリア教育 ・家庭・学校・地域ふれあい推進事業の推進	生徒が自らの生き方を考え、自分の意志と責任で主体的に進路を選択・決定することができるように指導・援助する。家庭・学校・地域ふれあい推進事業を各中学校において実施する。 また、中学校2年生を対象に3日間の職場体験学習を実施する。(令和2年から未実施。現在再開に向けて調整中。)

○学校人権教育の推進

	事業	内容
①	学校人権教育 ・人権標語、ポスターコンクールの取組の推進 ・人権作文の取組の推進	人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成する。 人権標語、人権作文等の取組を推奨し、学校人権教育の実践を充実させる。 教職員への研修の機会、啓発活動を企画し、実施する。
②	読書活動の推進 ・学校図書館教育の充実	読書は、人としてよりよく生きる力を育み人生をより味わい豊かなものとしていくために欠くことのできないものである。読書活動の充実に向けて、各小・中学校、地域、関係機関が連携した下記の事業を行う。 ① 学校図書館の整備と効果的な活用 ② 学校図書館司書教諭・学校図書館担当教諭・図書整理員の研修 ③ 公立図書館と学校図書館との連携 ④ 学校図書館蔵書の充実と選書の工夫 ⑤ 地域ボランティア活動との連携 ⑥ 新座市必読図書（第3期まで選定終了）の読書推進



75インチ電子黒板・可動式PC端末等を  
活用した授業の様子

○特別支援教育の充実

	事業	内容
①	特別支援教育環境の整備	<p>障がいのある子どもたちに、その障がいの特性や程度に応じて、一人一人へのきめ細かな配慮の下に、適切な指導が行えるようにする。</p> <p>【特別支援学級設置校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇知的障がい学級…全校設置</li> <li>◇自閉症・情緒障がい学級…全校設置</li> <li>◇弱視障がい学級…片山小、新座小</li> <li>◇肢体不自由学級…東北小</li> </ul> <p>【通級指導教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇難聴・言語（設置小学校）…八石小、新開小</li> <li>◇発達・情緒（設置小学校）…新座小、野寺小、新堀小 東野小、石神小</li> <li>◇発達・情緒（設置中学校）…第三中、第四中、第六中 （巡回指導校）…新開小、栗原小 新座中、第二中、第五中</li> </ul>
②	特別支援学級行事の合同開催 ・学習発表会 ・作品展	<p>特別支援学級設置校が合同の行事を開催し、各特別支援学級の交流とともに、体験的活動の充実に努める。また、特別支援教育の内容を広く啓発するために、各行事等の開催期日・場所を工夫しながら、地域・保護者の方々により多く参観、協力していただけるように配慮していく。</p>
③	就学相談	<p>特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学に向けて、障がいの特性や程度を的確に把握し、最も力を伸ばすことができる就学先について相談する機会を提供している。保護者及び本人がより納得した就学先を選択できるようにするために就学支援委員会を組織し、情報提供や助言を行っている。</p>
④	一般就学相談	<p>障がいのある子どもの保護者に、市の広報を通じて、幼稚園関係機関等にリーフレットを配布して、教育相談、就学相談を促す。電話相談、来談を通して資料の提供を行うとともに、特別支援学級の見学日を設定するなど、保護者及び本人が自ら判断できるように努める。また、就学後も必要に応じて教育相談を行う。</p>
⑤	特別支援教育支援員配置	<p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育活動の支援のため、新座市特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の社会的自立を目指す。</p>
⑥	音楽療法による指導の充実	<p>「音楽」を意図的、多角的に活用することで、児童の特性による諸課題についての支援としていくことを期待する活動である。健全な心身の発達を促すための1つのプログラムとして実施している。（対象は小学校・1年に4校ずつ）</p>

⑦	通級指導教室の設置	小・中学校の通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒に対して支援・指導の一層の充実を図る観点から、その障がいに応じた個別の支援・指導の場として設置している。「発達・情緒障がい」「難聴・言語障がい（きこえとことば）」の教室がある。
⑧	特別な支援を要する児童生徒の介助員配置	新座市立小・中学校に在籍する、歩行・食事・排泄等の介助が必要な児童生徒の社会的自立を促すための支援を行う介助員を配置する。
⑨	医療的ケア児のための学校看護師の配置	新座市立小・中学校に在籍する、日常的に医療的ケアが必要な児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるようにするために運営協議会を組織し、ガイドラインに基づいて学校看護師を配置している。

### ○教育相談活動

	事業	内容
①	教育相談員の配置	教育相談室において、教育相談員が電話・学校訪問・来室相談の形態を取りながら、教育相談を行っている。相談員は5名。うち3名は月曜日から金曜日、他2名は週3回勤務している。隔週月・火曜日は、教育相談員と県SSW、指導主事との合同会議を行い、教育相談の効果を高めるよう努めている。 ◇「一般教育相談」 TEL 048-477-4152 ◇「いじめ相談」 TEL 048-478-0100
②	子供相談電話・新座市こどもSOS相談の開設	家族や友だちなどにも聞かれたくない悩みや不安を抱えている市内小・中学校の児童生徒が、気軽にどこからでも電話や一人一台端末で悩みを相談できるような仕組みを整えている。 TEL 0120-213-415（フリーダイヤル）
③	学校カウンセラーの配置	いじめや不登校の問題解決に向け、児童生徒及び保護者、さらには学校からの希望などにより、より専門的な立場からのカウンセリングを月・水・金曜日に行っている。
④	教育支援ルームの設置 (ふれあいルーム) (とことこぷらすのへや)	不登校の児童生徒を対象に「ふれあいルーム」「とことこぷらすのへや」を設置して、社会的自立を目指した支援を行っている。「とことこぷらすのへや」は十文字女子大学と連携して指導援助にあたっている。
⑤	さわやか相談員等の配置	さわやか相談員を中学校に配置し、いじめや不登校等で悩みを抱える生徒の相談、支援にあたる。 ◇さわやか相談員……中学校全校に配置 ◇子どもと親の相談員……小学校全校に配置

⑥	スクールソーシャルワーカーの配置	不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけを行うとともに、家庭訪問等により児童生徒の支援を行う。
⑦	不登校対策	<p>不登校児童生徒への支援の仕方や、新たな不登校を生まない未然防止の観点も含め、校長会や研修会で周知啓発している。</p> <p>研修会では事例研修を行ったり、各校の不登校児童生徒への具体的な取組等について情報交換を行ったりして、一人一人の教員の指導の充実を図っている。</p> <p>また、近隣の大学の教育系及び臨床心理系学部と連携を取り、身近なお兄さんやお姉さんの存在のピアサポーターとして大学生・大学院生を学校などに派遣している。</p>

○国際理解教育と英語教育の推進

	事業	内容
①	英語指導助手配置 ・中学校全校にAET 各1名配置	市内全中学校にAETを一人ずつ配置して、生徒一人一人の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、英語科教員との週1時間のチーム・ティーチングによる外国語科の授業を展開する。
②	小学校英語講師配置	市内全小学校に小学校英語講師等を配置し、小学校3年生、4年生の外国語活動、小学校5年生、6年生の外国語（英語）において、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、担任とのチーム・ティーチングによる授業を展開する。小学校1年生、2年生、特別支援学級には年間10時間、担任とのチーム・ティーチングで英語の音やリズムになれることを目的とした授業を展開する。
②	日本語指導員及び外国籍児童生徒サポーターの派遣	<p>新座市立小・中学校に就学している日本語指導の必要な外国人子女及び帰国子女がいる学校に、日本語指導教員、日本語指導員及び外国籍児童生徒サポーターを派遣し、日本語指導を行う。あわせて、生活適応に関する支援を行う。</p> <p>日本語指導教員が巡回して指導方針及び調整を行っている。</p>

○地域交流活動の推進

	事業	内容
①	部活動ボランティア指導員の配置	中学校における部活動を充実させるために、専門的な指導技術をもった地域の人に協力していただくボランティア指導員を配置する。
②	市の文化的・体育的行事への児童生徒の積極的な参加	市民文化祭や市民体育祭などへ、マーチングバンドや吹奏楽部が参加したり、絵画や書道等の作品を出品したりするなど、団体や個人として積極的に参加するように奨励している。

○教職員研修一覧

	研 修 名	対 象	内 容
①	主幹教諭・教務主任研修会	主幹教諭・教務主任	教育指導計画についての研究を深め、自校の教育指導計画の充実に資する。
②	教科等主任研修会	各主任	市内教職員の資質の向上を図るとともに教育水準の維持向上を期する。
③	学校人権教育臨地研修会	小・中学校教員	人権課題について臨地にて学び、人権尊重の教育の充実に資する。
④	養護教諭研修会	養護教員	医療施設等の見学、専門家による講演等を企画し養護教員の資質の向上を図る。
⑤	栄養教諭・学校栄養職員研修会	栄養教諭・学校栄養職員	「食に関する指導」についての教材開発等について研修し、食育の充実に資する。
⑥	生徒指導、学校教育相談主任研修会	小・中学校教員	「心豊かな児童生徒の育成を目指して～小・中学校の連携を推進し、9年間を見通した指導を実践する～」の研修テーマで、ブロック研修を行い、情報交換を行う中で、担当者の資質向上を図る。
⑦	生徒指導・教育相談・中級研修会	小・中学校教員	児童生徒理解の意義と方法や、学級・学校生活への適応に関する指導・援助や教育相談についての基礎的・基本的な知識や技能を習得し、教育活動の充実に資する。
⑧	特別支援学級担任者研修会	特別支援学級担当教員	授業研究を通して特別支援学級担任者の資質の向上を図るとともに、合同作品展等の合同行事等を通じて特別支援教育の充実に資する。
⑨	特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーター	市の就学支援委員会と連携し、適切な校内支援、就学相談を行うために、研修会を実施し、担当者の資質の向上を図る。
⑩	幼保小連携推進協議会研修会	幼稚園・保育園・小学校教員	幼稚園と保育園と小学校の相互の理解を深め、連携を通してそれぞれの段階での教育の充実に資する。



## 2 令和7年度 新座市教育委員会研究委嘱一覧

新座市教育委員会

### 【学校研修委嘱】

学校番号	学校名	研究領域	研究主題	委嘱年度
1	大和田小	学力向上	主体的に考え、学び合う児童の育成 ～「学ぶっておもしろい」と思える授業づくりを目指して～	6・7・8年度
2	西堀小	全教科	ポジティブな行動支援を軸とした学力向上	5・6・7年度
3	片山小	学力向上 (全教科)	学びに向かう力の涵養	7・8・9年度
4	第四小	全教科	互いの考えを伝え合い、自ら学びを広げる児童の育成 ～協働的な学びを育む学習指導の工夫～	5・6・7年度
5	八石小	授業改善	主体性を高める指導法の研究 ～自ら学びを計画し、実行できる児童を目指して～	7・8・9年度
6	東北小	学力向上	主体的・協働的に学ぶ児童の育成	6・7・8年度
7	野火止小	学力向上	よく考え 深く学ぶ のびっ子の育成	6・7・8年度
8	野寺小	全教科	感動ある学習の創造 ～互いが育つかかわりのできる子をめざして～	6・7・8年度
9	池田小	学力向上	自りつした児童の育成 ～最後までやりぬく池田っ子～	7・8・9年度
10	新堀小	学力向上	未来を拓く児童の育成	7・8・9年度
11	東野小	I C T教育等 (指導力向上)	『自立した学習者』となる児童の育成	7・8・9年度
12	栄小	生活科、総合的な 学習の時間	確かな学力を育てる ～本気の課題に向き合い、未来を「そうぞう」する～	5・6・7年度
13	石神小	学力向上	学び続ける児童の育成	7・8・9年度
14	新開小	学力向上	主体的に問いを追究・解決しようとする児童の育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～	6・7・8年度
15	栗原小	学力向上	思いや考えを表現し、資質・能力を高める児童の育成	7・8・9年度
16	陣屋小	学力向上	あきらめずに学び続ける児童の育成 ～学習方略、非認知能力に着目して～	6・7・8年度
17	新座小	授業改善	「もっと」があふれる授業の創造	5・6・7年度
18	新座中	学力向上	“生徒が主役”の授業デザインを目指して ～ファシリテーターとしての教師の在り方の創造～	7・8・9年度
19	第二中	学校教育相談	「多様な育ち」を前提とした学校システムの再構築	6・7・8年度
20	第三中	全教科	探究と協働の学びへ ～学びの質の向上をめざして～	5・6・7年度
21	第四中	全教科	質の高い学びの実現に向けた授業スキルの向上	5・6・7年度
22	第五中	学力向上 I C T教育 (全教科)	「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現 ～I C Tを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して～	5・6・7年度
23	第六中	特別の教科 道徳	自らの考えを豊かに表現できる生徒の育成 ～「考え、議論する」道徳授業の実践を通して～	6・7・8年度

### 【教職員への研究委嘱～個人研究・グループ研究～】

個人研究	栗原小 大森 有	体育・保健体育	運動好きの児童を育てる体育授業の研究	7年度
個人研究	栗原小 美崎 翔太郎	理科	見方・考え方を働かせ、問題解決を図る児童の育成	7年度
個人研究	陣屋小 手嶋 大介	体育・保健体育	全員が「運動が楽しい」と感じられる体育授業の研究 ～アダプテーションゲームの実践を手掛かりにして～	7年度
グループ 研究	東北小 渡邊 敬弘 その他8名	I C T教育等 (指導法改善)	学びが楽しいと感じる児童の育成 ～小学校における教科担任制導入に関する研究～	7年度
グループ 研究	野寺小 工藤 俊輔 その他5名	体育・保健体育	モデリングを通して資質・能力をバランスよく育むための指導法の工夫	7年度

### 3 市立小・中学校

#### 新座市立大和田小学校

=シンボルの木及び花=

木 さくら

花 日々草

《プロフィール》

本校は開校151年目を迎える歴史と伝統のある学校である。保護者や地域住民には、卒業生も多く、学校に寄せる期待と愛着が強く感じられる。平成14年1月、環境にやさしい「エコスクール」として新校舎が完成した。ワークスペースを備えた教室等、施設の特徴を生かした教育活動を推進している。次年度より、体育館の建替工事が行われる予定である。

学校教育目標は「大和田小の子は(品格) かしこく(知性) やさしく(感性) がんばる(耐性)」であり、目指す学校像を「にこにこ きびきび すらすら はきはき『わかる・できる・楽しい』」を実感できる大和田小学校とし、一人一人の児童を大切に、子どもの自己有用感を向上させ、主体的・協働的学びを大事にした学校づくりに力を注いでいる。

新座市教育委員会より学力向上の研究委嘱を受け、「主体的に考え、学び合う児童の育成」を研究主題に、主体的で対話的な学びを深め、自ら表現、発信する力の育成を目指している。「チーム大和田小」「鉄壁のカバーリング」を合言葉に、日々教育活動に取り組んでいる。



マスコットキャラクター「だっぺん」



校長 戸高 正弘

教頭 真田 朋美

創立 明治7年7月9日

児童数 689名

教職員数 38名

学級数 25学級

所在地 新座市大和田一丁目1番30号

電話 048-477-2021

FAX 048-482-6787

ホームページ

<http://e-oowada-c-niiza.edumap.jp/>

空晴れわたり 野にもわく  
秩父の峰を あおき見て  
むやまと学ぶ 窓こそは  
あーたを思う さいごう  
あー大和田 小学校

昔を今に のたりとく  
流れも清い 野火止  
ふとりをわけて りんとろ  
あさふたうな 鐘鳴らす  
あー大和田 小学校

明けりと光り 花を望み  
眺めをいつも 庭にいて  
ひときわ高く そびえさ  
元氣にはげな 育つ子の  
あー大和田 小学校

大和田小学校々歌

新座市立大和田小学校

#### 令和7年度 新座市立大和田小学校 学校グランドデザイン



第4期埼玉県教育  
振興基本計画

確かな学力の育成  
豊かな心の育成  
健やかな体の育成

新座市教育行政  
重点施策  
はぐくもう  
共に生きる力と  
豊かな心

～だれもが  
自分らしく幸せに  
生きるために～

＜学校教育目標＞

大和田の子は(品格) かしこく(知性) やさしく(感性) がんばる子(耐性)

＜目指す学校像＞

にこにこ・きびきび・はきはき・すらすら  
「わかる・できる・楽しい」大和田小学校

＜今年度の重点＞

- 「個に応じた対応」子供たち一人一人を見届け、家庭との連携・連絡調整等丁寧に対応する。
- 「主体的に活動する場の設定」低・中・高学年ブロック内等で異年齢の学習活動を進める。
- 「授業づくりの深化、充実」児童一人一人に確かな学力をつけ、授業改善を図る。
- 「ICT環境への対応」効果的な活用方法を検討し、校内での活用事例の共有を図る。
- 「社会に開かれた教育課程、保護者や地域と連携した教育活動の創造」外部人材や外部教育環境の活用、保護者の教育活動への参加を促す。
- 「地域・保護者の期待と信頼に応える」体育館の建替工事における教育課程及び学校行事の検討、不要な備品の廃棄などを計画的に進める。

全ての子どもを大和田小の光に

「チーム大和田小」「鉄壁のカバーリング」

＜目指す教職員像＞

「凡事徹底」・「師弟同行」

- ・子供一人一人を丁寧に見届ける
- ・授業・研修を大切に、常に探求を続ける
- ・保護者・地域の願いや思いを受け止める
- ・お互いの立場を思いやり、協働の気持ちを大切に
- ・勤務規律を守り、教職員事故を起こさない

＜目指す児童像＞

- にこにこ
  - ・温かい思いやりの気持ちで「ありがとう」と伝えられる子
  - ・誰に対しても明るく笑顔で挨拶ができる子
- きびきび
  - ・「ハイ」という元気な返事ができる子
  - ・いつも健康で、体を鍛え、楽しく生活ができる子
- すらすら
  - ・基礎・基本を大切にして学ぶ子
  - ・自ら課題をもち、進んで学習に取り組む子
- はきはき
  - ・自分の考えをはっきりと表現し、伝えられる子
  - ・人の話をよく聞いて自分で考え行動できる子

# 新座市立西堀小学校



=シンボルの木及び花=

- 木 さくら
- 花 コスモス

## 《プロフィール》

本校は創立146年目を迎え、明治、大正、昭和、平成、令和にわたり、西堀・新堀・本多地区等の小学校として多くの実績を残してきた伝統溢れる学校である。地域住民の学校への関心は高く、読み聞かせや1年生の生活指導（めんどり隊）・スクールガード（見守り隊）・図書ボランティア（さくらんぼ）など、学校応援団の活動も盛んである。

学校研究では、令和5年度より新座市教育委員会の委嘱を受け、「ポジティブな行動支援を軸とした学力向上」をテーマに、個別最適化、協働的な学びの実現に向けて、指導法の工夫・改善に取り組んでいる。教師自身が主体的に課題に取り組み、個々の児童の学力に合わせた指導を行い、確かな学力の定着を目指している。本年度の本発表にあたり、研究の成果を示していく。



校長 鶴田 千尋  
 教頭 萩原 智子  
 創立 明治13年11月13日  
 児童数 372名  
 教職員数 23名  
 学級数 16学級（うち特別支援学級3）  
 所在地 新座市西堀二丁目18番3号  
 電話 042-491-6671  
 FAX 042-495-8848  
 ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-nishibori/>

## 校歌

薩摩 忠 作詞  
 藤山 一郎 作曲

一  
 緑にあける 野火の原  
 緑にひかる 通学路  
 受けついだ 歴史を守り  
 新しい 時代を築く  
 あかるい先生 あかるい友達  
 輪になり学ぶ

西堀 西堀 楽しい学校

二  
 緑にはえる 平林寺  
 緑にそまる ガラス窓  
 智恵伊豆の 流れを汲んで  
 みがきあう 心と身体  
 あかるい先生 あかるい友達  
 手を取り進む

西堀 西堀 楽しい学校

令和7年度  
**新座市立西堀小学校**  
コミュニティスクール対象校

学校教育目標  
**やさしく かしく たくましく**

三・日・市の教育  
 ① 教育・文化活動の活性化  
 ② 地域住民の参加  
 ③ 市民意識の醸成  
 ④ 地域活性化の推進  
 ⑤ 市民生活の向上

**目指す学校像** 地域・保護者とともに歩み、あいさつと笑顔あふれる学校  
 ・やさしさや思いやりあふれる学校  
 ・わかる授業が実施され、主体的・対話的で深い学びの実現の場  
 ・誰もが学力を身につける学校  
 ・心身の健康を大切に、児童がたくましく成長する学校  
 ・こころを1つに、全教職員が自分の良さを発揮し、活力がみなぎる学校

**学校の花** コスモス **創立146周年** **学校の木** サクラ  
 学校経営方針 **～MIND-1 NEXTAGE～** 心ひとつに次の時代へ  
 豊かなかわり（PBS）を生かして、『自分の学び』をつくる西堀っ子を育てる  
 教職員全員が当事者意識をもって、自分の役割を果たす

**目指す教師像** 児童の自己肯定感を高める教師  
 ～日常生活の中で、3秒の真の言葉を贈る～  
 ・児童の良さを引き出し、伸ばすことができる教師  
 ・健康で、明るく、人間性豊かな教師  
 ・人材育成の力として目標を掲げ、挑戦する教師  
 ・学校経営の視点を持って考え行動する教師  
 ・研修を大切に、学び続ける教師

**目指す児童像** クリエイティブで 優しく 元気な児童  
 ・仲良く 助け合おう（やさしく）  
 ・よく聞き 考えろ子（かしく）  
 ・心と体を ぎにえろ子（たくましく）

令和7年度 **西堀小 にじ プロジェクト** 新座市立西堀小学校

目標と意義	学校の取組	児童の取組	教員の取組	地域との取組
<b>やさしく</b> よく聞けたい 思いやりあふれる児童	1. 一人一人、一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。
<b>かしく</b> よく聞けたい 思いやりあふれる児童	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。
<b>たくましく</b> 心身健康で たくましく成長する児童	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。	1. 一人一人の個性や能力を認め、互いに尊重し合う授業の実践。 2. 互いに尊重し合う授業の実践。 3. 互いに尊重し合う授業の実践。

**目指す授業像** 一人一人の強さを認め、児童の可能性を引き出す授業  
 ～ JUST EIGHT MINUTES ～  
 教師の説明8分以内の授業展開を目指す  
 ・学習指導要領を基礎に戻し、意欲！大活躍！授業  
 ・共通して振返りがある授業  
 ・本時の「ねらい」が明確に示されている授業  
 ・自らが発見・発見の考えを表現する場がある授業  
 ・仲間とともに考え、豊かな発想が生まれる授業  
 ・課題解決の、深層的な学習活動を取入れる授業

**重点目標** やさしく 豊かな心の育成のために  
 ・全ての児童が笑顔できる学校づくり  
 ・多角的・多面的に考える道徳授業の推進  
 ・児童の自主活動、豊かな体験活動の充実

**重点目標** かしく 確かな学力の向上のために  
 ・応用行動分析に基づいた3層の個別最適な支援の提供  
 ・成果を数値で示し、データを活用した指導  
 ・ICT機器の効果的な活用

**重点目標** たくましく 健やかな体を育てるために  
 ・プロ、本物から学ぶ活動の推進  
 ・自らの命を守る責任を学ぶ安全教育の充実  
 ・家庭と連携した「早寝、早起き、朝ご飯」の励行

**特色ある主な教育活動** ゲストティーチャーによる体験活動  
 5年 手芸体験 4年 訪問紙飛行機作り 3年 JRC体験活動  
 西堀町内会 新堀・西堀コミセンとの交流  
 西堀町会祭り 西堀町内会活動 西堀・新堀コミュニティ祭り

**プロ・本物から学ぶ体験活動**  
 ① 前座芝居・体操数学科習  
 リオパラリンピック選手ラグビー一級マダリスト  
 菅野 一彦選手に学ぶ

**目指す授業像** 一人一人の強さを認め、児童の可能性を引き出す授業  
 ～ JUST EIGHT MINUTES ～  
 教師の説明8分以内の授業展開を目指す  
 ・学習指導要領を基礎に戻し、意欲！大活躍！授業  
 ・共通して振返りがある授業  
 ・本時の「ねらい」が明確に示されている授業  
 ・自らが発見・発見の考えを表現する場がある授業  
 ・仲間とともに考え、豊かな発想が生まれる授業  
 ・課題解決の、深層的な学習活動を取入れる授業

**家庭・地域との連携・協働** 【おねだりから理解】  
 ・「西堀小 にじ プロジェクト」の取組・啓蒙  
 ・学校説明会等と連携し、地域の人・関係機関の参画

**校内研修** 令和5・6・7年度 勤務時間外委員会実施  
 「ポジティブな行動支援を軸とした学力向上」  
 ～ 始まってください！ 応援！ 認定してください！

**学校応援団の活動** 学校・家庭・地域の絆を深める  
 「確かな学校づくり」  
 図書ボランティア 読書講座 見守り隊  
 めんどり隊（1年生） さくらんぼ（図書） スのクラブ（工作）

# 新座市立片山小学校

片山を愛し、「人・自然・社会」とのつながりを大切にする ユネスコスクール片山小学校



=シンボルの木及び花=

木 あおぎり

花 コスモス

《プロフィール》

本年度、開校151周年を迎えた。地域の温かい支援と期待を受けて片山っ子の児童像か=かしこく た=たのしく や=やさしく ま=まけない子 を掲げ、伝統を大切にしながら教職員が情熱をもって創造的な教育活動を展開している。SDGsとユネスコの教育理念『学びの4本柱』を掛け合わせ、学びに向かう児童の育成を目指し、チーム片山小で取り組んでいる。研究主題を「学びに向かう力の涵養~自己の課題を探究し続ける児童「つなぎ つなげる つながりあう」~」とし、新座市教育委員会の委嘱を受け、児童が身につけた知識や技能、思考力・判断力・表現力を最大限に活用し、自立した学習者として成長できるよう教育実践を行っている。今後は国際交流や異文化理解の活動をさらに充実させ、児童が広い視野をもち、世界とつながる学びを実践していく。



校長 石渡 知樹

教頭 橋本 勝明

創立 明治7年2月15日

児童数 479名

教職員数 28名

学級数 20学級

所在地 新座市片山一丁目8番31号

電話 048-477-0312

FAX 048-482-6788

ホームページ

<https://e-katayama-c-niiza.edumap.jp/>

## 校歌

吉田 拓作詞  
有賀 正助作曲

一 片山の 片山の  
小学校はよいところ よいところ  
緑の丘にかこまれて  
空気が澄んでなごやかな  
小鳥の歌で朝が来る 朝が来る  
富士山はきょうも晴れてる(くり返す)

二 片山の 片山の  
小学生のわたしらは わたしらは  
粘りが強く 親切で  
言わねばならぬ事は言う  
聞かねばならぬ事は聞く 事は聞く  
富士山に胸を開こう(くり返す)

三 わたしらは わたしらは  
手に手を取って 武蔵野の 武蔵野の  
ゆたかな土を踏んで行く  
日本の子供新しい  
時代をつくる子供らだ 子供らだ  
富士山はきょうも晴れてる(くり返す)

## グランドデザイン THE 片山小 4つの柱+α

### 学びに向かう力の涵養

- ①自己の課題を探究し続ける児童の育成
- ②児童が学びを選択する学習への転換
- ③多様な学び方、多様な学習空間の整備

### ICT環境(日本一)の駆使

- ①個別最適な学びと探求的な学びを実践
- ②生成AIや校務システムによる業務改善で、児童に向き合う時間を確保

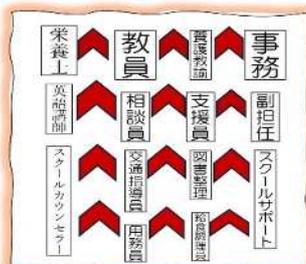
## 学校教育目標 自ら学ぶ子・思いやりのある子・たくましい子

### ユネスコ スクールの 活動

- ①ユネスコの理念に基づく教育を推進
- ②ユネスコスクール・キャンディーデート校の連携による教育の充実



### 強固なスクラムで 押し進める教職員!



### コミュニティ・ スクールの 本領発揮

- ①学校運営協議会での熟議を生かした学校運営の推進
- ②地域の教育環境・教育資源を活用した教育活動を展開



# 新座市立第四小学校

「友だちたくさん 笑顔あふれる第四小」



＝シンボルの木及び花＝  
木 さくら  
花 コスモス



## 《プロフィール》

本校は、新座市では昭和の時代になってから最初に誕生した小学校であり、本年度で開校58年目を迎える。南には黒目川が流れており、周りにはまだ畑や林も多く残っている。校地内には多くの桜の木があり、緑豊かで自然に恵まれた学習環境となっている。

今年度から2年間の長寿命化改修工事が行われ、施設・設備が新しくなる予定である。

令和5年度から、新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題「互いの考えを伝え合い、自ら学びを広げる児童の育成～協動的な学びを育む学習指導の工夫～」のもとに、算数を中心に理論研修、授業実践を実施しており、令和8年1月29日には研究発表会が予定されている。また、地域に開かれた学校づくりとして、「チロルの森」(ミニギャラリー)に美術作品を展示(長寿命化改修工事のためお休み中)したり、読み聞かせボランティアによる「本の読み聞かせ」などの読書活動の充実に努めたりしている。

校長 梅田 竜平

教頭 丹野 俊宏

創立 昭和43年4月1日

児童数 566名

教職員数 30名

学級数 21学級

所在地 新座市馬場三丁目6番1号

電話 048-478-3192

FAX 048-482-6789

ホームページ

<https://e-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>

## 校歌

昭和四十四年度六年生作詞  
重田 二宮 立身 補作  
恒雄 立身 補作  
作 曲

一 おもかげ残す 武蔵野に  
黒目の流れ 友にして  
ペンの心を きざみこみ  
白くそびえる 学校は  
われらが新座 第四小学校

二 はずんだ声が 声を呼び  
わらいのうずに 包まれて  
希望のひとみ 輝かす  
いつも楽しい よい仲間  
われらが新座 第四小学校

三 あらし吹く日も 枝つよく  
伸びるけやきの 木のよう  
肩組み合って きょうもまた  
明るい未来を めぎそうよ  
われらが新座 第四小学校

## 令和7年度 新座市立第四小学校 グランドデザイン ～開校58周年・21学級～

### 〈国の法令等〉

- 日本国憲法・教育基本法
- 学習指導要領「生きる力の育成」
- ・ 資質・能力の3つの柱  
「知識及び技能」  
「思考力、判断力、表現力」  
「学びに向かう力、人間性」
- ・ 主体的・対話的で深い学び
- 令和の日本型学校教育
- ・ 個別最適な学び、協動的な学び

### 【学校教育目標】

- よく考え学ぶ子  
・ 動機付け、好奇心  
・ 体験活動
- じょうぶでたくましい子  
・ 思考力、判断力、表現力  
・ 心身の健康、安全
- 心の豊かな子  
・ 耐性と責任感  
・ 目標と強い意志  
・ 挨拶と感謝の心  
・ 思いやりと助け合う心  
・ 協働する力

### 〈県の施策〉

- 第4期埼玉県教育振興基本計画 (R6～10年度)  
「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」
- 埼玉県教育委員会教育行政重点施策

### 〈新座市教育大綱 基本理念〉

「はくくもう 共に生きる力と豊かな心」  
～だれもが自分らしく幸せに生きるために～



友だちたくさん 笑顔あふれる 第四小  
～歌声響く 活気と誇りに満ちた魅力ある学校に～



【だいちゃん・しょうくん】

### 【目指す学校像】

- 1 元気に登校する学校  
(明るい挨拶、生活規律、心身の健康、リフレッシュ)
- 2 明るく美しい学校  
(整頓清掃、安心・安全、豊かな感性)
- 3 自信と力のつく学校  
(個別最適な学び・協動的な学び、自己有用感に基づく自尊感情)
- 4 信頼される学校  
(情報発信、事故防止、CS)



【学校の木「さくら」、学校の花「コスモス」】

### 【令和7年度 重点課題】

- ～「相手意識」と「感謝」～
- 1 凡事徹底  
生活や学習のきまりを確認し、当たり前のことを当たり前に行えるように、指導・見届けをする。
  - 2 魅力があり、わかる授業の展開  
日常生活に結びつけ、好奇心や学ぶ意欲を高める導入に心がけ、見聞の学び合いを大切にす。  
また、ICT機器の効果的な活用を図る。
  - 3 インクルーシブ教育の推進  
いじめや差別の根絶、不登校や配慮が必要な子への組織による対応で、すべての子供が共に学び合い、安心して生活できる環境をつくる。
  - 4 学校課題研究のまとめ【研究発表会 1月29日】  
「互いの考えを伝え合い」自ら学びを広げる児童の育成 ～協動的な学びを育む学習指導の工夫～
  - 5 校舎長寿命化改修工事への対応  
授業時数の確保、行事の工夫、安全で計画的な工事

### 【目指す教師像】

- 1 笑顔で接する教師  
・ 率先垂範、健康  
「和と協働を大切にします」
- 2 人間性豊かな教師  
・ 温かさや厳しさ、言葉遣い  
「子供を大切にします」
- 3 学ぶ喜び・わかる楽しさを教えられる教師  
・ 指導力  
「授業を大切にします」
- 4 学び続ける教師  
・ 向上心  
「研修を大切にします」
- 5 保護者・地域とともに学ぶ教師  
・ 信頼感  
「保護者・地域の願いを大切にします」

# 新座市立八石小学校

新座市教育委員会 コミュニティ・スクール指定校

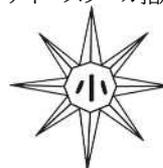


=シンボルの木及び花=

<学校教育目標>

木 いちょう  
花 ツツジ

なかよく かしくく たくましく



《プロフィール》

本校は、『三方よし「児童よし、教師よし、保護者・地域よし」による、学校有用感あふれる八石小学校』のキャッチフレーズのもと、児童が希望をもって登校し、充実感に満ち、満足して下校する生気あふれる魅力ある学校づくりを目指している。各職員が創意工夫し、力を合わせて、一人一人の子どもを大切に教育を推進するため、授業改善について「主体性を高める指導法の研究」をテーマとして、全職員で取り組んでいる。また、本校は難聴言語通級指導教室を開設しており、言語指導にあたっている。地域や外部機関が参画した教育活動を積極的に展開し、学校・家庭・地域が自信と誇りを持ち、共有できる学校づくりに取り組んでいる。

校長 川南 真一

教頭 池崎 麻里

創立 昭和44年4月1日

児童数 288名

教職員数 24名

学級数 14学級（うち特別支援学級2）  
（きこえとことばの通級指導教室）

所在地 新座市野寺二丁目8番45号

電話 048-477-6701

FAX 048-482-6790

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-hachikoku/>

校歌

薩摩 志 作詞  
藤山 一郎 作曲

一 さわやかな  
緑の空気に  
かこまれて  
明るく学び  
楽しく遊ぶ  
武蔵野台地  
八石の  
ぼくたち わたしたち  
礼儀正しく  
すこやかに  
仲よく伸びる  
子供たち  
仲よく伸びる  
子供たち  
ふりあおぐ  
空よりも高い  
夢を持ち  
明るく鍛え  
楽しく励む  
武蔵野台地  
八石の  
ぼくたち わたしたち  
力あわせて  
たくましく  
未来を担う  
子供たち  
未来を担う  
子供たち



## 令和7年度 コミュニティ・スクール 新座市立八石小学校 グランドデザイン

**【学校教育目標】**

**なかよく**  
他者を思いやり協力し、感謝の心を育てる

**かしくく**  
学びの面白さを味わわせ、問いをもち探究し、表現する力を育てる

**たくましく**  
困難に立ち向かい、目標に向かって粘り強く行動できる心と体を育てる

**【目指す児童像】**  
「なかよくかしくくたくましく」を体現する児童

- ① 自他の命を大切に、相手意識をもって接することができる子（なかよく）
- ② 目の前の事象に興味を持ち、読んで学び、表現できる子（かしくく）
- ③ 困難にあきらみ、目標に向かって粘り強くがんばる子（たくましく）

**【目指す学校像】**  
『期待の学校、充実の活動、満足の下校ができる、ワクワク感あふれる学校』

- ① 教職員が情を注ぎ、自らも学び続ける学校
- ② できる喜び、分かる喜び、学ぶ面白さが味わえる授業を展開し、確かな学力を身に付けられる学校
- ③ 保護者や地域から愛され、認められ、信頼される学校

**【目指す授業像】**  
『主体性を高める授業』

- ① 学習への意欲や関心を喚起することができる授業
- ② 児童が「できる喜び、わかる喜び」を体験できる授業
- ③ 学習規律が徹底された授業

**【目指す教師像】** 「八つ石(徳)をもった教師」

- ① 知覚・感情 教師を志した時(幼少、理想等)を忘れず、今もふれずに信念を常に持ち続け、債務に当たる。
- ② 平然冷静 教職員は児童の人生に大きな影響を与える存在。その指導をする立場がまず児童に範を示す。
- ③ 不要流行 教育の中にあわらない本質的なものを大切に、かつ、新しいものを取り入れ、共存する。
- ④ 有らぬが 明確なゴールを示し、説明責任も負う。自らのよさや可能性をまかせ、生きる力をつけるための教育活動を実践する。
- ⑤ 現状には 現状維持は衰退である。小さな変化を求め、大きな変化とするため、新たな教育活動を実践する。
- ⑥ 自律尊重 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる学校環境をつくり、支助を要す。
- ⑦ 凡庸徹底 当たり前のことを当たり前に、学校全体で他校とは違う誇れる取組として徹底、実践する。
- ⑧ 共に成長 教職員個々の持っているすぐれた知恵や知を集めて一つにして、組織で対応する。

**（学校のキャッチフレーズ）** 『三方よし「児童よし、教師よし、保護者・地域よし」による、学校有用感あふれる八石小学校(の愛児)』

自己肯定感とは、自分を肯定的に受け止めること。自己有用感とは、「有用」とあるように、自分が人の役に立っているという気持ちを持つ。子どもたちにそのような気持ちを高める子どもに、教職員、児童、保護者、地域の力が学校に対して自ら、誇りを持って持ち続けることができるように、学校がより活躍の場となるように、自信・誇りを持ち、生徒が自信をもち、共に成長していく(学校有用感)。

**【学力向上】**

- ① 学習規律の確立と徹底
- ② 1時間ごとのわかる授業の展開と工夫
- ③ 基礎基本の定着を図る学習指導の工夫と計画的・継続的な個別指導
- ④ 一人一人に合ったタブレット端末等の活用
- ⑤ 算数科と他の領域的な連携の充実(算学年は算科中心、低学年まで少人数指導)
- ⑥ 学年内で学級を離れた教育実践
- ⑦ 高学年教科専科の導入(算・理・音)
- ⑧ 4年生以上の授業の継続的活用
- ⑨ 読書活動の推進(読書図書)の推進
- ⑩ 校務研究により指導方法の改善(主体性)
- ⑪ 校内外カンパス「実践」(1月)
- ⑫ 英語・外国語活動の推進
- ⑬ 非常勤勤務でのオンライン学習の提供

**【豊かな心の育成】**

- ① 生徒指導・教育相談の推進(組織対応の重視)
- ② 特別支援教育の推進
- ③ 道徳教育の充実(考え、議論する)
- ④ 人権教育の推進「あおいこころをみせる」あおいこころ：おもしろいやりいっしょうけんめい
- ⑤ 基本的生活習慣の徹底
- ⑥ 体験活動の充実(学校関係の活用、外部機関との連携)
- ⑦ キャリア教育の充実
- ⑧ 異年齢児童による活動の充実(学校関係の活用、外部機関との連携)
- ⑨ 学校関係の活用、外部機関との連携
- ⑩ 校長企画書の充実

**【たくましい児童の育成】**

- ① 新体力テストの結果の公表と対応
- ② 食育の充実(食育推進委員会)の推進、食育推進、週給・以降、食する一環の取組
- ③ 校内外の体育的行事の推進及び積極的な参加・観戦
- ④ 運動教育の充実(水泳指導の徹底)
- ⑤ あたりまえのことをあたりまえにできる子の育成(挨拶・感謝、言葉遣い、時間を守る等)
- ⑥ 民間委託による水泳指導(6月)

**【教員の資質向上】**

- ① 教習公務員としてのあり方(根拠ある判断行動、有実実行)
- ② 教師としてのあり方(情のある指導・判断、率先垂範)
- ③ 社会人としてのあり方(一般常識を兼ね備える、凡事徹底)
- ④ 教員の授業力向上
- ⑤ キャリアステップに合わせた研修、主任研修会・研究発表会への積極的参加
- ⑥ 管理職等職の授業公開実施(1/2回)
- ⑦ 自己研鑽シートへの定期的・体系的な目標設定
- ⑧ 働き方改革の推進(ノーマル残業・家庭ノー残業18時電話19時研修作業19時半研修活動)
- ⑨ 倫理観委員会での取組、実践

**【コミュニティ・スクールの推進・強化】**

- ① 学校運営協議会の承認に基づく学校経営
- ② 学校関係機関・PTA・外部機関との連携強化
- ③ 学校からの積極的な情報提供(学校より給付の発行、毎日のHP更新、報道関係への情報提供、スクールメールの活用等)
- ④ 方巾ブロック・幼稚園・保育園、いきいき広場・コロンレド・学習との連携
- ⑤ 学校関係の活用

**本年度の重点・取組**

# 新座市立東北小学校

=シンボルの木及び花= 【学校目標】 なかよく元気な子  
 木 ヒイラギ よく考える子  
 花 マーガレット すすんで働く子



## 《プロフィール》

東武東上線志木駅から歩いて10分。目の前に立教大学新座キャンパスが広がる緑豊かで落ち着いた環境の中で、788名の子供たちが元気に学んでいる。

「笑顔いっぱい 歌声響く 東北小学校」(活気と潤いのある学校)をキャッチフレーズに、創立57年目を迎える。「こども110番」発祥校として知られ、地域の方々や頼もしい学校応援団(お話よむよむ・ぴかぴか隊・その他各行事ボランティア等)に支えられた学校である。コミュニティ・スクール8年目となり、地域との連携を深めている。

校長 斉藤 直之

教頭 石山 勉

創立 昭和44年4月1日

児童数 788名

教職員数 69名

学級数 29学級

所在地 新座市北野三丁目1番1号

電話 048-471-2022

FAX 048-487-5534

ホームページ

<https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

## 校歌

中谷 孝雄 作詞  
 吉野 一行 作曲

一 自然のみどり なお残る  
 野火止の野に 風光り  
 小鳥の歌も ほがらかに  
 みんな明るく のびのびと  
 仲よく元気に 前進だ  
 ああ東北 われらの小学校

二 はるかに霞む 富士よりも  
 高き希望を いだきつつ  
 大地を踏んで 立つわれら  
 みんなこころも さわやかに  
 仲よく元気に 前進だ  
 ああ東北 われらの小学校

三 かがやく朝日 むさし野の  
 空ひろびろと 限りなく  
 われらのゆく手 照らすなり  
 みんな手をとり すこやかに  
 仲よく元気に 前進だ  
 ああ東北 われらの小学校



## 令和7年度 新座市立東北小学校 グランドデザイン



〈国の法令等〉

- 日本国憲法、教育基本法
- 学習指導要領「生きる力の育成」
- 資質・能力の3つの柱
- 令和の日本型学校教育
- 他多量適な学び、統合的な学び

〈保護者・地域の願い〉

- 地域に根ざした魅力ある学校
- 安心・安全な学校
- 地域とともにつくる学校

学校教育目標

「なかよく元気な子」  
 【美しく】  
 「よく考える子」  
 【温かく】  
 「すすんで働く子」  
 【常に前進】

・思いやりと助け合う心  
 ・健康増進、体力向上  
 ・思考力、判断力、表現力  
 ・体験、好奇心  
 ・努力と奉仕の心  
 ・目標と強い意志

・挨拶と感謝の心  
 ・学びに向かう力  
 ・耐性と責任感

美しく 温かく 常に前進 東北小学校  
 ~ 活気と潤いのある学校 ~

〈埼玉県の施策〉

- 第4期教育振興基本計画(令和6~令和10年度)
- 埼玉県教育重点施策
- 指導の重点・努力点

〈新座市教育大綱 基本理念〉

はぐくもう 共に生きる力と豊かな心  
 ~ けれども自分らしく  
 幸せに生きるために ~

目指す学校像

- ・創意と活力ある教育活動を展開する学校
- ・夢をもたせ、学力の伸長に努める学校
- ・美しい環境づくりに努める学校
- ・保護者や地域に開かれた学校

目指す教師像

- 1 新しい発想を積極的に発案できる教師
- 2 子供の夢と希望を熱く語る教師
- 3 子供と積極的にふれあい、遊べる教師
- 4 礼を正し、場を清め、時を守る教師
- 5 互いに磨き合い、高め合うことのできる教師
- 6 環境変化に敏感で、心配りと心配りのできる教師
- 7 やさしく笑顔で児童や保護者に接する教師
- 8 保護者や地域の声に耳を傾け、誠意ある対応のできる教師



変える勇気と変わる覚悟

これまでの成果を継承するとともに従前主義や前年換算を誤解と捉え、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熱意と創意をもって組織的・継続的にPDCAマネジメントサイクルに取り組む。

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領の着実な実働とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、授業ルーティン等の視点による授業改善、ICT機器の有効活用など、教育課程の構成・実施・評価に組織的に取り組む。

学校経営の基本方針

インクルーシブ教育の推進

すべての児童ができるだけ同じ場で共に学ぶことを目指し、授業内容が分かり、学習活動に参加している児童・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごすよう、生きる力を身に付けていけるよう、環境を整備する。

学ばにふさわしい学習環境づくり

児童が、安心して学べる安全で清潔で雅いのある学校であるため、教育現場の点検及び整備に取り組み、朝のスタートを気持ちよくいじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ見逃し0に取り組む。

率先垂範・ワークライフバランス

児童・保護者、地域から信頼される学校職員であるため、不祥事等の教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

# 新座市立野火止小学校

=シンボルの木及び花= 新座市教育委員会 コミュニティ・スクール指定校

木 いちよう  
花 カンナ



『全ての児童が確実に伸びる学校』をめざして  
※CS協議会の「熟議」を深める学校  
・人間的なふれあいを大切にす学校  
・教職員が互いに磨き合い高め合う学校  
・保護者や地域の人々に信頼され誇れる学校  
・児童が学びやすい環境をもち、安全・安心が確保された学校



校長 丹代 円  
教頭 大久保 洸  
創立 昭和46年4月1日  
児童数 546名  
教職員数 31名  
学級数 21学級(うち特別支援学級3)  
所在地 新座市野火止四丁目9番1号  
電話 048-477-1211  
FAX 048-482-6792  
ホームページ  
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-nobitome/>

## 《プロフィール》

学校地域教育目標「考え学ぶ子・仲よくする子・たくましい子・地域を愛する子」のもと、開校55年目を迎える本校は、学校・家庭・地域が連携し、豊かな環境づくりを行う中で、児童の健全育成を目指している。平成25年度より県内では2番目となるコミュニティ・スクール指定校となり、「コミュニティ・スクール協議会(CS協議会)」を発足させ、保護者・地域代表や有識者からなる委員の方々の承認を受けながら学校経営を進めている。

新座市教育委員会の委嘱を受け、よく考え、深く学ぶ、のびっ子の育成の研究を行う中で、保護者・地域とともに「のびゆく のびっ子 プロジェクト」を推進している。

一	みどりゆたかな 歴史をしるす はむむたごえ みんな楽しく われらのつど	二	えがお明るく まことをいつも からだをきたえ みんな仲よく われらのそだ	三	いちようのこずえ 未来をめざす みなぎる力 みんな正しく われらのほまれ	校歌
	野火止小学校		友をよび 忘れずに たくましく 伸びてゆく 野火止小学校		吉川 武男 作詞 池田 文三 作曲 村田 英夫 作曲	

### 令和7年度 野火止小学校グランドデザイン

コミュニティ・スクール野火止 since 2013 (CS指定13年目)

保護者地域の人々に信頼され誇れる学校

学校応援団

学校研修

教職員が互いに磨き合い高め合う学校

＜目指す教師像＞

- 児童一人ひとりを丁寧に見届ける
- 授業・研修を大切にす
- 保護者・地域の願いを受け止める
- 互いの立場を思いやり協働の気持ちを大切にす

＜学校地域教育目標＞

○考え学ぶ子 ○仲よくする子 ○たくましい子 ○地域を愛する子

＜目指す学校像＞

**『全ての児童が確実に伸びる学校』**

～ のびゆく のびっ子 プロジェクト 令和7年度 ver.～

今年度の重点

『全ての児童が確実に伸びる学校』-4つの育成と8つの約束-

- ①学びに向かう力を育成します
- ②よく考え、深く学ぶ、のびっ子の育成のため授業改善をします
- ③学習の個性化と指導の個別化を育み、ICTを積極的に活用した授業を行います
- ④社会で通用する感性を育成します
- ⑤多様性を尊重し、合意形成や、折り合いのつけ方を経験させます
- ⑥学級・学年等、集団生活の中で自己を見つめさせます
- ⑦実行する力を育成します
- ⑧係活動・当番活動をやり遂げさせる中で実行力を育成します
- ⑨よりよい学校生活が送れるよう自分で考えて決定させ、エージェンシーを育みます
- ⑩地域を愛する心と、社会に貢献しようとする態度を育成します
- ⑪教育課程を地域に開き、豊かな教育活動を実施します
- ⑫保護者や地域と連携した授業づくりを行います

今年度の努力点

＜家庭・地域との緊密な連携＞

- 「コミュニティ・スクール協議会」を生かした地域連携の推進
- 大学や民間企業・地域の公共機関などの連携事業の実施
- 地域行事等への積極的参加
- 家庭、地域と連携したのびっ子プロジェクトの推進
- 音楽会と作品展の隔年開催

＜学力の向上＞

- 単元内自由進度学習の研究・実践
- 基礎基本の徹底(ハンジタイム)
- 主体的、対話的で深い学び
- 思考力・判断力・表現力を高める指導
- 少人数指導の充実
- 家庭学習の習慣化
- 一人一台端末を活用したICT教育の実践
- 専科指導、教科担任の推進

＜心豊かな児童の育成＞

- 基本的な生活習慣の確立
- 道徳授業の充実
- 凡事徹底(無言清掃など)
- 保護者、地域と協力しての挨拶指導
- 大切にしたい4つの言葉

＜体力の向上＞

- 体育授業の充実
- 体力づくりの時間や場の設定
- スキルアップキャンペーンの実施
- 体力アップカードの活用
- 外遊びの励行(のびのびタイム)
- 正しい食事の習慣化
- 正しい歯磨きの指導

＜学習環境の整備＞

- 豊かな学習環境づくりの推進
- のびっこ田んぼ、草花等の植栽による緑豊かな環境
- ビートPを活用した体験学習
- 掲示物等潤いのある環境
- 施設設備の常時点検
- 厳密に清掃の実施

人間的なふれあいを大切にす学校

特色ある教育活動

学びの環境

児童が学びやすい環境をもち、安全・安心が確保された学校

＜目指す児童像＞

(知)

- 自ら課題をもち、進んで物事に取り組み
- 主体的・対話的に学び、考えを深めることができる子

(徳)

- やさしさと思いやりをもち、認め合い、協力し合える子
- よりよく生きることができるよう、自ら考え決定できる子

(体)

- 健康安全に気を配り、自ら身体と心をきたえる子
- 目標をもち、ねばり強く最後までがんばる子

(地域)

- 地域に関心をもち、支援に感謝できる子
- 自らの役割を意識し、責任をもって果たす子

地域とともに豊かな学びを創造し 地域の絆を深める学校づくり



＝シンボルの木及び花＝  
 木 ヒマラヤスギ  
 花 たんぽぽ

学校教育目標  
 ・よく聴きよく考える子  
 ・心のゆたかな子  
 ・からだのじょうぶな子



《プロフィール》

本校は新座市の南西部に位置し、西東京市及び練馬区に隣接する埼玉県最南端の学校である。古くからの農家も散在し落ち着いた環境であるが、近年住宅が増え、児童数も増加傾向にある。開校54年目となる。家庭・地域の方々とはとても協力的で学校応援団活動も盛んな学校である。令和2年度に、地域学校協働活動文部科学大臣表彰を受けた。

学校研究では令和6年度より、新座市教育委員会の研究委嘱を受け、「感動ある学習の創造～互いが育つかわりのできる子をめざして～」をテーマに、全教職員が授業研究を中心に研究に取り組んでいる。

校長 杉原 浩二

教頭 宮澤 直美

創立 昭和47年4月1日

児童数 694名

教職員数 38名

学級数 26学級（うち特別支援学級4）

所在地 新座市野寺五丁目1番24号

電話 042-473-9453

FAX 042-477-1673

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-nodera/>

校歌

太陽の子われら

関根 栄一 作詞  
 湯山 昭 作曲

みどりのゆたかな むさし野の  
 明るい花よ たんぽぽよ  
 空に輝く太陽に  
 光るひとみを きらめかし  
 のぞみあふれて 進もうよ

新座野寺の 鐘のこえ  
 めぐみの水よ 伊豆堀よ  
 遠くはかな昔から  
 香りつたえる そのころ  
 むねに生かして 学ぼうよ

ここに植える 三本の  
 元氣 本氣 根氣の木  
 おおきくのびて  
 明日をよぶ  
 野寺小の われら  
 太陽の子 われら

子供の尊い命を守り、無限の可能性を伸ばす学校  
 ～家庭・地域とともに一人一人が輝く野寺小学校～ グランドデザイン



学校研究  
 「感動ある学習の創造」  
 ～小精神神が花代校へ～

埼玉県  
 《基本理念》  
 豊かな学びで  
 未来を拓く埼玉教育  
 《教職員MITO》  
 未来を創る、こどもたち。  
 未来を育てる、わたしたち。

新座市  
 Aggressive Innovation  
 《教育大綱基本理念》  
 はぐくもう 共に生きる力と豊かな心  
 ～だれもが自分らしく幸せに生きるために～  
 5つの指針  
 学力・豊かな心・体力・連携・文化

通級指導教室  
 ふらねっとルーム  
 3年目

指導形態の工夫  
 教科担任制

はっきりとした声で  
 あいさつと返事

目指す児童像  
 ○よく聴き、よく考え、  
 よく表現できる子  
 ○思いやりをもち、  
 協調して生活する子  
 ○運動に親しみ、  
 ねばり強くがんばる子

情報モラル  
 著作権や肖像権  
 に関する教育  
 第五中学校区  
 小中連携

「野寺っ子の一日」  
 学習ルール  
 共通理解  
 共通行動

学校運営協議会  
 PTA（家庭）  
 学校応援団  
 地域等  
 との連携

目指す教職員像  
 ○笑顔、健康、人間性豊か  
 ○学ぶ喜び・わかる楽しさを  
 伝えることができる  
 ○子供の知的好奇心を刺激する  
 ○協力して問題解決を図る  
 ○高い倫理観を持ち、  
 服務規律を遵守する

体験的な学習の充実  
 5年野寺田んぼ

たんぽぽのように  
 やさしく  
 つよく  
 のびのびと

新座市立野寺小学校

目指す授業像  
 ○子供が主体となる授業  
 ○学び合いのある授業  
 ○めあてと振り返りのある授業

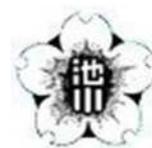
ICT、タブレット、  
 AI 教材・AI の活用

読書活動推進  
 いろいろ読もう  
 たくさん読もう

誰一人取り残さない  
 多様性に配慮した  
 教育活動

# 新座市立池田小学校

＝シンボルの木及び花＝ 学校教育目標「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」  
 木 やまぎくら  
 花 アジサイ



校長 高 徹二

教頭 大関 岳広

創立 昭和47年6月15日

児童数 403名

教職員数 42名

学級数 17学級（うち特別支援学級3）

所在地 新座市池田四丁目8番49号

電話 048-479-4051

FAX 048-482-6793

ホームページ

https://e-ikeda-c-niiza.edumap.jp

## 《プロフィール》

やまぎくらの大木が校庭の真ん中にそびえ、四季の変化を教えながら子供たちを見守っている。

令和7年度より3年間の新座市教育委員会研究委嘱を受け、「自りつした児童の育成～最後までやりぬく池田っ子～」という研究主題のもと、主体的に学び、最後までやりぬくことができる児童の育成を目指して研究を行っている。また、1年生からAI型学習教材 Qubena を取り入れた学習を行うなど、ICTを積極的に活用して個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めている。

本校のシンボルである「やまぎくら」を守り、地域や家庭との連携を深め、やまぎくらと共に成長する「すべての人にとって居心地のよい学校」を目指していく。

## 校歌

校歌制定委員会  
 選定補作 作曲  
 加藤 知典 作曲

一 窓に明るく 声はずむ  
 ぼくたち わたしたち  
 みんな仲よく 手をつなぎ  
 ああ 学びあう 池田小学校

二 かがやける庭に さきほこる  
 花のゆたかさ すこやかさ  
 ぼくたち わたしたち  
 人間の心の ふるさとを  
 ああ 学びあう 池田小学校

三 はるかなる空に 高くとべ  
 明日に向かって はばたこう  
 ぼくたち わたしたち  
 強き身体と その笑顔  
 ああ 学びあう 池田小学校



## 令和7年度 新座市立池田小学校グランドデザイン 「やる気 ゆう気 けん気」あふれる池田っ子の育成 ～すべての人にとって居心地のよい学校づくりをとおして～



学校のシンボル:やまぎくら

**【教育関係法規等】**  
 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法  
 ○学習指導要領 ○埼玉県小学校教育課程編成要領  
 ○埼玉県教育行政重点施策  
 ○埼玉県教育委員会「指導の重点・努力点」  
 ○新座市教育委員会「指導のてびき」

**学校教育目標**  
**健康で よく学ぶ 心のゆたかな子**

**【新座市教育大綱基本目標】**  
 1 家庭や地域が一体となった汎学的教育の推進  
 2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進  
 3 心豊かで健全な青少年の育成の推進  
 4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承  
 5 教育施設の整備・充実の推進

**【目指す教師像】**  
**「初志貫徹、率先垂範、職明茶知、有言実行できる教師」**  
 ① 子供の成長を第一に考え、行動する教師  
 ② 率先垂範、委知を結集し、共通理解・共通行動・共通協働する教師  
 ③ 自らの授業を振り返り、常に授業改善に真剣に取り組む、学力向上に結びつける教師  
 ④ 心身共に健康で、自らのよさを表現して、子供に関わる教師

**【今年度の成果目標】**  
**☆学力向上（子供の学力の保障）**  
 ・全国・県学力・学習状況調査の正答率及び伸び率の上昇  
 ・校内学力テストの正答率95%以上  
**☆誰一人として取り残さない指導（教職員の資質・指導力）**  
 ・ICTの効果的な活用による深い学びへの授業改善  
 ・授業を常に振り返り、学び続ける教職員の育成  
**☆不登校児童の消滅（居心地のよい学校づくり）**  
 ・校内支援ルームの効果的な活用による不登校児童2割削減

**【目指す児童像】**  
 ○健康な子（けん気）  
 ・自然の生命の尊さを知り、安全や健康に気をつけることができる子  
 ・ねばり強く取り組み、自分を鍛えることができる子  
 ・自分の健康を自ら守ろうとすることができる子  
 ・体力向上に取り組む子  
 ○よく学ぶ子（やる気）  
 ・話を最後まで聞くことができる子  
 ・自分の考えをはっきり表現できる子  
 ・学ぶとする意欲を持つことができる子  
 ・自分の考えを持ち課題を追求できる子  
 ○心の豊かな子（ゆう気）  
 ・はつまと気持ちよく挨拶や返事ができる子  
 ・相手の気持ちを思いやり、行動することができる子  
 ・他の人や自分を大切に、行動することができる子  
 ・自然を愛し、美しいものや良いものに感動できる子

**【目指す保護者像】**  
 ① 子供に基本的なしつけを的確にできる保護者  
 ② 子供の生活のリズムや食生活に力を尽くす保護者  
 ③ 子供によく声をかけたたり、よく話を聞いたり、共に語らうことができる保護者  
 ④ 地域とふれ合って子供を育てる保護者

**【目指す学校像】**  
 ① 満足感や達成感、充実感に満ちた児童の笑顔が輝く学校  
 ② 落ち着きと楽しさ、活気のある学校  
 ③ 教職員が愛を示し、自らも学び続ける学校  
 ④ 保護者や地域から親しまれ、認められ、信頼される学校

**【学校力を変える6つのキーワード】**  
 1 教職員の率先垂範 「教職員は児童の人生に大きな影響を与える存在。その立場がまず動を促す」  
 2 有言実行 「自らのよさ・可能性を生かし、目標を立て、責任を持って教育活動を実践する」  
 3 人権感覚 「自分の大切な、他の人を大切にできる学校環境をつくり、態度や行動で表す(あおい心を形に)」  
 4 積極的地域対応 「地域を知り、愛わり、地域の人材・環境を学校へ、学校も地域に飛び出す」  
 5 現状打破 「わずかな変化を求め、組織で対応しながら、教育活動等を構築していく」  
 6 凡事徹底 「当たり前のことを実践する中から、学校として誇れることを徹底的に実践する」

## 目標実現へ 学校経営の重点・努力点(具現化に向けた主な取組)

<p><b>【確かな学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器等を活用した授業</li> <li>○学習規律の確立と徹底</li> <li>○1対1指導のわかる授業の展開（何が出来るようになったのか）</li> <li>○個別指導強化、多様な協働学習</li> <li>○教科担任制・文楽授業の充実</li> <li>○家庭学習の充実・強化</li> <li>○学校図書館、読書活動の充実</li> </ul>	<p><b>【豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談・生徒指導の推進</li> <li>○特別支援教育の推進</li> <li>○各種職員、関係機関との連携</li> <li>○人権教育、道徳教育の推進</li> <li>○学校課題研究・研修の活用</li> <li>○キャリア教育の充実</li> <li>○作文指導(校内掲示・新聞社投稿)</li> </ul>	<p><b>【健やかな体の育成と体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育授業の充実と外遊びによる健康増進(足休みの確保)</li> <li>○健康教育の推進(肥満対策の指導)</li> <li>○「早寝早起本朝ご飯」の推進</li> <li>○大学・外機関との連携、栄養教諭を中心とした食育の推進</li> </ul>	<p><b>【教職員の資質向上に向けた研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校課題研究の積極的な取組</li> <li>○AIフューチャーズにおける積極的研修への参加、研修の機会充実</li> <li>○研究発表会等の研修への積極的な参加</li> <li>○育種参加型授業公開</li> <li>○自己評価シートにおける具体的目標設定</li> </ul>	<p><b>【家庭・地域との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクールの推進</li> <li>○学校運営協議会の充実</li> <li>○地域（外部）人材の積極的活用</li> <li>○学校使、学校IPの充実、校外への発信</li> <li>○三つの助産、第三ブロック、幼・保・高との連携</li> </ul>	<p><b>【危機管理の徹底と施設の有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育公務員として誇りをもち、自覚と責任による職務遂行</li> <li>○教職員候補者選考委員会の実施</li> <li>○自省力改革（195分30分単位活動等）</li> <li>○日々の安全管理、整理整頓</li> <li>○災害対策、教職員の整備</li> </ul>
--	--	--	---	---	---

# 新座市立新堀小学校



校長 若林 寿  
 教頭 池谷 ひろみ  
 創立 昭和49年4月1日  
 児童数 447名  
 教職員数 28名  
 学級数 19学級(うち特別支援学級2)  
 所在地 新座市新堀一丁目16番5号  
 電話 042-493-7551  
 F A X 042-495-7693  
 ホームページ  
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>

=シンボルの木及び花=

木 はなみぎき  
 花 すみれ



《プロフィール》  
 学校教育目標

「学ぶ子ども 仲よくする子ども 健康な子ども はたらく子ども」

市の最西端に位置し、東久留米市と清瀬市に挟まれた細長い学区にある。学区の周囲には、畑や雑木林も残っており、落ち着いた教育環境である。

令和7年度から3ヵ年、新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題「未来を拓く児童の育成」のもと、指導者を招聘しての理論研修、授業実践に取組んでいる。

目指す学校像「未来の社会を生き抜く力の基礎を築く学校」、CS新堀小「学校と社会をつなぎ、新堀小の子どもたちに未来を拓く」の教育理念のもと、「グローバル人材の育成」と「情報化への対応」を指導の重点に、自ら学び実践できる子の育成を目指している。

**令和7(2025)年度**  
**新座市立新堀小学校グランドデザイン**  
 Niiza-City Shinbori Elementary School

**学校像：未来の社会を生き抜く力の基礎を築く学校**  
 ミッション：グローバル人材の育成、ICT化への対応  
 CS教育理念：学校と社会をつなぎ子供たちの未来を拓く

校訓 禮儀れいぎ 質林しつぱく 自治じち ※西堀小から継承

**新堀小の特色 strong point(強味)**

**ONE TEAM & OUR TEAM**  
 多様性・協働 主体性意識・地産 学習活動 エレガンスの会 楽隊会

**新堀小の特色 strong point(強味)**  
 新堀小の教育活動の広報の場(パネル展示、写真のスライドショー毎月更新)  
 施設見学と利用者との交流  
 和室(茶室)を利用して茶道クラブが活動  
 夏季休業中の自主学習教室  
 コミセン張りポスター作りへの協力 子どもたちが「私たちのコミセン」といえる場となるように!

**年間を通した国際ナショナルスクールCAJ (Christian Academy in Japan) との交流学習** → 異文化理解、語学力  
 交換留学体験(新堀小児童 春休みにCAJへ、CAJ児童 6月に新堀小へ)  
 直接交流GO&COME  
 GO:2年生・6年生CAJツアー、COME:CAJ4th児童来校 4~6年生と交流  
 職員交流、合同研修会

**ゲストティーチャーによる保護者参加型特別授業** 一部の国教育通訳学校公開 → 幅広い教養と専門性、課題発見能力、公共性  
 1年生「イロのフシギ」 発行者K.I.T.戸ノ門大学校教授 三谷宏治先生 ※R6年度の取組  
 2年生「子どもの姿勢」 経産教育 東京有明医療大学 小山浩司先生  
 3年生「絵画教室(燈明づくり)」 自分らしく新堀一丁目在住 西家 森志らべ先生  
 4年生「認知症対応-ケア養成講座、認知症理解 当堀新堀高齢者支援センター  
 5年生「起業」 キャリア教育 Highsto(歴史カードゲーム制作) 学生CEO 渡辺拓磨先生  
 6年生「命の授業」 ガン教育 順天堂大学名誉教授 榎野隼夫先生

**社会と連携したものづくり PBL (Project Based Learning)** → コミュニ能力、協働性、課題発見・解決能力  
 「クリエイティブ アドベンチャー『夢の〇〇をつくろう』(3・4・5年生総合的な学習の時間) 指導者は、ゲーム機を開発している現役のエンジニア等、モノづくりを通して、製品開発のプロセスを経験 **キャリア教育**  
 【主催】(社)たよなん×ソニー教育財団【協賛】

**海外の相手校とのグローバルPBL** → アートマイル国際協働学習 → 異文化理解、コミュニケーション能力、協働性、課題発見・解決能力  
 インターネットを借り、自分達の身近にあるSDGsの課題をつなげて、海外の相手校の同世代と対話的・協働的に学び合う1年間を通して取り組むプロジェクトベースの学習(6年生総合的な学習の時間) **グローバル化**  
 【主催】(財)JAMジャパンアートマイル(文科省【後援】、JAIC【協力】)

**教員研修** 授業研究イメージングプログラム※R5・6の取組 → 異文化理解、幅広い教養と深い専門性(教職員)  
 授業研究イメージングプログラム(11月) 欧州・米国等から外国人教師が来校 **グローバル化**  
 ①児童との交流や授業参観 ②本校教員との合同研修会等を実施

**米国スクールサイコロジストとの連携** ※R4~6の取組 → 異文化理解、幅広い教養と深い専門性(教職員)  
 ①米国イリノイ州認定スクールサイコロジストによる研修会(対面研修6月、オンライン・電子メール相談 通年) **グローバル化 不登校 問題行動**  
 米国の教育相談・生徒指導、特別支援教育のスペシャリストから学ぶ

**学校応援団活動** → 公共性、日本人としてのアイデンティティ

「楽農会」「華や花会」  
 「クローニンググリーンサポーター」  
 毎週月曜日9:30~11:00  
 4~11月第一土曜日9:30~11:00  
 活動場所：新堀小ファーム

「新堀小読み聞かせ会」  
 毎月第2月曜日8:25~9:35  
 集合場所：1F学校図書館  
 全クラス一斉読み聞かせ

「1年生スマイルサポーター」  
 給食・掃除・休み時間等  
 活動場所：1年生教室  
 1年生が安心して学校生活がスタートできるようサポート

「エレガンスの会」  
 毎月第3金曜日10:00~11:30  
 活動場所：1Fコフレンド教室  
 ハンドマッサージ、楽しくお話し

「図書ボランティア」  
 ①図書室の片づけ  
 ②本の整理  
 ③その他、読書の推進活動  
 随時募集

## 校歌

<p>四                  厳しい冬の 風の中                  樺は根を張り 天指している                  そうだ雄々しい 樹のように                  われら 新堀小学生                  強くたくましく 生きようよ</p>	<p>三                  富士山望む 武蔵野に                  紅葉色づく 柿の実光る                  そうだ豊かな 野のように                  教えしっかり 胸にとめ                  明日の実り 築こうよ</p>	<p>二                  ゆかしい歴史 野火止の                  水はきらめく 夏雲映える                  そうだ 輝く陽のように                  あつい友情 胸に抱き                  仲よく学び 励もうよ</p>	<p>一                  台地の朝の そよ風に                  若草萌える 花咲き匂う                  そうだ かわいい芽のように                  希望大きく 胸に秘め                  青空さして 伸びようよ</p>	<p>小林 芳仁 作詞                  松尾 篤興 作曲</p>
---	--	--	---	---

# 新座市立東野小学校

=シンボルの木及び花=

木 くぬぎ

花 サルビア



《プロフィール》

学校教育目標「おおらかで たくましく 進んで学ぶ子 地域とともに生きる子」

武蔵野の雑木林を切り開いて建てられた学校で、今年で開校52周年目を迎える。目指す学校像「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」の実現に向け、日々の教育活動を進めている。PTA活動、学校応援団の活動も充実しており、本校の花壇はいつも明るく彩られている。地域に愛され親しまれる開かれた学校を目指している。

校長 齋藤 伸一

教頭 桜井 遊

創立 昭和49年4月1日

児童数 737名

教職員数 71名

学級数 28学級（うち特別支援学級4）

所在地 新座市野火止六丁目22番12号

電話 048-479-7280

FAX 048-482-6794

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/>

校

歌

折山 俊也  
浦山 かずお  
岡辰男  
作詞  
作曲

一 朝日に映える武蔵野の  
緑豊かな学びやに  
明るく集う君とぼく  
心をあわせたくましく  
若い力をきたえよう  
われらが東野小学校

二 歴史に残る野火止の  
光かがやく学びやに  
仲良く集う私たち  
今日も笑顔ですこやかに  
豊かな心育てよう  
われらが東野小学校

三 空すみわたる東野の  
風はさやかな学びやに  
楽しく集う仲間たち  
明日の夢を語りつつ  
ともに手をとり学びあう  
われらが東野小学校

## 令和7年度 新座市立東野小学校 グランドデザイン

<p><b>学校教育目標</b> おおらかで たくましく 進んで学ぶ子 地域とともに生きる子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○おおらかで（徳・規律ある態度）</li> <li>○たくましく（体・体力）</li> <li>○進んで学ぶ子（知・学力）</li> <li>○地域とともに生きる子（地域）</li> </ul>	<p><b>目指す学校像</b> 「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」 ～一人一人の笑顔と感動、歌声あふれ、深く学び合い、生きる力(夢)をはぐくむ学校～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童が“学び合いがある”と実感できる学校</li> <li>(2) 保護者にとって“迷わせがある”と実感できる学校</li> <li>(3) 地域にとって“応援・協働し合いがある”と実感できる学校</li> <li>(4) 教職員にとって“働きがいがある”と実感できる学校</li> </ol>							
<p><b>学校経営方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実</li> <li>(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実</li> <li>(3) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化</li> <li>(4) 教育環境の整備と充実</li> <li>(5) 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進（地域を愛する子供の育成）</li> </ol>	<p><b>目指す児童像</b></p> <table border="1"> <tr> <th>自立（ひとりで）</th> <th>共生（なかよく）</th> <th>健康（たくましく）</th> </tr> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自立（ひとりで）</li> <li>○自ら進んで学ぶ子</li> <li>○自ら考え判断し、正しい行動ができる子</li> <li>○自ら考え、課題が解決できる子</li> </ol> </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 共生（なかよく）</li> <li>○誰にでも思いやりの心をもって接する子</li> <li>○みんな学び合い、みんなのために働く子</li> <li>○いじめは絶対しない子</li> </ol> </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>(3) 健康（たくましく）</li> <li>○進んで運動し、体力をつける子</li> <li>○最後まで張り強く取り組む子</li> <li>○早寝・早起き・朝ご飯をすすんで食べる子</li> </ol> </td> </tr> </table>	自立（ひとりで）	共生（なかよく）	健康（たくましく）	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自立（ひとりで）</li> <li>○自ら進んで学ぶ子</li> <li>○自ら考え判断し、正しい行動ができる子</li> <li>○自ら考え、課題が解決できる子</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 共生（なかよく）</li> <li>○誰にでも思いやりの心をもって接する子</li> <li>○みんな学び合い、みんなのために働く子</li> <li>○いじめは絶対しない子</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(3) 健康（たくましく）</li> <li>○進んで運動し、体力をつける子</li> <li>○最後まで張り強く取り組む子</li> <li>○早寝・早起き・朝ご飯をすすんで食べる子</li> </ol>	<p><b>目指す教師像</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研究と修業に励み、わかる授業を行い、児童のよさや可能性を伸ばす教師</li> <li>(2) 児童に寄り添い、温かな人間関係を築ける人間性豊かな教師</li> <li>(3) 互いに切磋琢磨し、組織の一員として協働する教師</li> <li>(4) 児童や保護者・地域の方々、同僚から信頼される教師</li> </ol>
自立（ひとりで）	共生（なかよく）	健康（たくましく）						
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自立（ひとりで）</li> <li>○自ら進んで学ぶ子</li> <li>○自ら考え判断し、正しい行動ができる子</li> <li>○自ら考え、課題が解決できる子</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 共生（なかよく）</li> <li>○誰にでも思いやりの心をもって接する子</li> <li>○みんな学び合い、みんなのために働く子</li> <li>○いじめは絶対しない子</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(3) 健康（たくましく）</li> <li>○進んで運動し、体力をつける子</li> <li>○最後まで張り強く取り組む子</li> <li>○早寝・早起き・朝ご飯をすすんで食べる子</li> </ol>						

東野小 キャッチフレーズ

ひびく歌声 が：がんばる心 し：しあわせ笑顔で のびのび育む夢

<p>①学年・学級経営の充実を図り、信頼関係や好ましい人間関係をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活づくりに参画しようとする自主的・主体的な態度の育成</li> <li>・人間関係を深め、学級の好ましい雰囲気</li> <li>・環境正しい生活態度、善悪を正しく判断して行動する力の育成</li> </ul>	<p><b>重点目標 HIGASHINO11</b> <b>ひがしのイレブン</b></p>	<p>⑧教職員の授業力や資質向上のための研修の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準研修を通じた組織的な授業力の向上</li> <li>・切磋琢磨し合う関係を醸成した、指導力や人間性などの資質や能力の向上</li> <li>・時間外・在職等時間の確保と学校における働き方改革の推進</li> </ul>
<p>②児童理解を深め、一人一人のよさや可能性の伸長を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな成長と自己実現のための支援</li> <li>・それぞれの能力が十分に発揮できるような教育活動の推進</li> <li>・悩みや不安を解消し、学校生活への充実感や満足感を高める取組の推進</li> </ul>	<p>⑤道徳教育の充実を図り、豊かな人間性や規範意識をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間を要として、道徳実践の指導の充実</li> <li>・児童の豊かな心をはぐくむ実践や体験活動の推進</li> <li>・家庭や地域と相互に連携を深めた取組の充実</li> </ul>	<p>⑨安全教育和安全管理の徹底を図り、安全安心な教育環境を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教育活動を通じた組織的、系統的に安全教育の推進</li> <li>・安全学習の充実と安全指導の推進</li> <li>・防犯教育及び防災教育の充実</li> </ul>
<p>③児童が主体的に学ぶ授業づくりを進め、学習内容の確実な定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自立した学習者」となる児童の育成</li> <li>・個に応じた支援と評価や振り返り活動の充実</li> <li>・体系的な学習、ICTや少人数指導、ICTを活用した授業の充実</li> </ul>	<p>⑥体力の向上と健康教育の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動に親しみ資質や能力の育成</li> <li>・自らの健康を適切に管理し、健康を固める意識醸成の資質や能力の育成</li> <li>・保健教育や保健管理を適切に実施</li> </ul>	<p>⑩情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を主体的に収集・判断・選定等を行い、発信する能力の育成</li> <li>・相手の立場を尊重して意思疎通を図ることのできる資質や能力の育成</li> <li>・社会の変化に対応するための教育の充実</li> </ul>
<p>④児童一人一人を大切に生徒指導・教育相談の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ見逃し防止、早期発見、早期対応、関係機関と連携し対応</li> <li>・不登校の未然防止、早期発見、早期対応、関係機関と連携し対応</li> <li>・児童一人一人に寄り添った丁寧な対応と必要なサポート体制の構築</li> </ul>	<p>⑦一人一人の教育的ニーズに適切に対応する特別支援教育の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級在籍児童の状況や特性等に応じたきめ細かな指導の充実</li> <li>・進路支援や特別支援の一人一人に応じた適切な支援の充実</li> <li>・発達・学習障がい児指導指導室「東野小ふらっとルーム」新設</li> </ul>	<p>⑪情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から学び、地域を愛する児童の育成</li> <li>・国際理解教育と連携し、よりよい教育環境の構築と豊かな教育活動の推進</li> <li>・地域の施設等との関係性を深める取組の推進</li> </ul>

# 新座市立栄小学校

＝シMBOLの木及び花＝

木 カエデ

花 日々草

《プロフィール》

開校50年目を迎えた本校は、季節の移ろいを感じさせる豊かな緑に囲まれ、静かで落ち着いた雰囲気のある学校環境にある。

「確かな学力を育て、豊かな人間性を培う」を教育目標とし、「自分が好き、なかが好き、栄が好き」な児童の育成を目指して、SDGs教育をはじめとした多様な教育活動を推進している。

校内研究として、新座市教育委員会の研究委嘱を受けて授業改善に取り組み、「確かな学力を育てる」を研修主題とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に研究を進めている。



校長 浅田 敦子

教頭 本田 真智子

創立 昭和51年4月1日

児童数 303名

教職員数 29名

学級数 14学級

所在地 新座市新塚一丁目1番1号

電話 048-478-3168

FAX 048-482-6796

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-sakae/>

校

歌  
坂元 彦太郎 作詞  
穴倉 正信 作曲

一 さくらの花が 咲きほこり  
かげろうもえて かすむ富士  
明るい声が はずんでる  
栄小学校 春の歌

二 みどりの松に 風わたり  
汗ばむひたい さわやかに  
げんきなかげが たくましい  
栄小学校 夏の庭

三 すすきのなびく 武蔵野に  
大地をつよく 踏みしめて  
ちからのかぎり 競い合う  
栄小学校 秋の空

四 富士山近く あぎやかに  
こころも澄んで しんげんに  
学びのへやに はげみあう  
栄小学校 冬の窓

## 自分が好き、なかが好き、栄が好き

令和7年度グランドデザイン 新座市立栄小学校

**国・県の施策と法令の遵守**

日本国憲法 教育基本法  
第4期教育振興基本計画  
学習指導要領 令和の日本型学校教育  
第4期埼玉県教育振興基本計画  
～豊かな学び、未来を拓く～  
埼玉県教育行政重点施策

**新座市教育委員会の学校教育の指針**  
～はぐくもう 共に生きるものと豊かな心～

- 学力の定着
- 豊かな心の育成
- 体力の向上
- 家庭・地域との連携
- 文化芸術の推進

**学校教育目標 確かな学力を育て、豊かな人間性を培う**

**目指す学校像** **自分が好き、なかが好き、栄が好き**  
～ウェルビーイングを目指し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進～

**目指す児童像** **さわやかな子 かしこい子 えがおのある子**  
～学んだ知識・技能や体験から見つけた課題に向きあい、創造力や想像力を発揮して解決しようとする子～

**目指す教師像** **「栄プライド」(別紙)を実践している教師**  
ウェルビーイングを考える教師

**コミュニティ・スクール**  
学校運営協議会、学校応援団(おやじの会、読み聞かせ、花壇等緑化活動、学習指導支援活動等) 地域人材の活用 地域行事への参加

学校運営協議会

**家庭との連携**

**特色ある栄小の教育活動の展開** ★は今年度の重点

**さわやかな子**  
「自立する力と自律の心を育む」

★体力の向上  
(個の継続的な取組の充実、体育授業の充実)

- 保健・安全教育、食育の充実、安全管理の徹底
- 進んで挨拶、場に応じた言葉遣いの指導の徹底
- ★デジタル・シティズンシップ教育の推進 (栄小GIGA宣言)
- 基本的生活習慣の指導
- ★教育相談的な生徒指導の推進 (KOKOROタイム、いじめ防止の取組)

あいさつ運動

**かしこい子**  
「豊かな創造力を育む」

- 栄小学習スタイルの徹底 (学習規律、ねらいと振り返り、★指導と評価の一体化)
- 学力テストの活用
- ★主体的・対話的で深い学びの指導の充実 (個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、ICT機器の積極的な活用、自由進度学習)
- ★探究的な学びの指導の充実
- カリキュラム・マネジメント
- 多様な学びの場の設定 (異学年交流、地域での学び、教科・チーム担任)

地域での学び

**えがおのある子**  
「優しい想像力を育む」

- ★道徳教育・道徳授業の充実
- ★児童を主体とした工夫あるふれあい活動の実施
- キャリア教育の推進
- 読書環境の充実
- ★オリ・パラ教育のレガシーの継承(多様性と共生)(バラスポーツの取組、日本文化の理解)
- SDGsの取組等
- 体験活動の充実
- 生活科
- 総合的な学習の時間等

生涯体験

特別支援教育の推進 (相談体制、指導体制の整備 確実な情報共有 インクルーシブ教育)

# 新座市立石神小学校



=シンボルの木及び花=

木 梅  
花 マリーゴールド  
《プロフィール》



本校はPTA組織を主とする学校応援団活動が活発であり、朝のあいさつや登下校時の見守り活動など地域との結びつきも強い。令和4年度には、本校の学校運営協議会を母体とした「あいさつの町 石神」プロジェクトを立ち上げ、継続したあいさつを地域ぐるみで取り組んでいる。

また、正門前の「ふれあいの路」には、学校応援団「どろんこの会」の方々を中心となって、四季折々の花を植えてくださり、自然豊かな環境の中で、保護者、地域に支えられあいさつと笑顔があふれる教育活動を展開している。

令和7年度に開校50周年を迎え、6月には記念事業の一環として航空写真撮影を行った。11月には記念式典を行う。

校長 長尾 友一

教頭 橋本 康信

創立 昭和51年4月1日

児童数 506名

教職員数 34名

学級数 20学級

所在地 新座市石神一丁目10番20号

電話 048-477-2152

FAX 048-482-6797

ホームページ

<http://www.e-ishigami-c-niiza.edumap.jp>

校歌

風早 美樹 作詞  
藤山 一郎 作曲

青空広がるグラウンドに  
話しかけるよ富士の山  
光と緑に包まれて  
石神の子どもは素直に伸びる  
あしたを差しいつでも元気  
石神石神楽しい学校に  
小鳥鳴く道仲よく通う  
考え学ぶ石神われら



## あいさつと笑顔があふれ、子供が輝く学校 ～ 魅力づくり 環境づくり 人づくり ～

令和7年度  
新座市立石神小学校  
グランドデザイン

**【新座市】〈新座市教育大綱〉令和5年～9年**  
○基本理念  
はぐくもう 共に生きる力と豊かな心  
～だれもが自分らしく幸せに生きるために～  
【新座市教育委員会】  
○学校教育における5つの指針  
学力・豊かな心・体力・連携・文化  
～ Aggressive Innovation [Create] ～  
○教育DXの推進 ○メディア・リテラシー教育の充実

**学校教育目標**  
学び合い  
心豊かに  
たくましく

〈国・県の施策・法令〉  
○日本国憲法 ●埼玉教育の振興に関する大綱  
○教育基本法 ●第4期埼玉県教育振興基本計画  
○学習指導要領 ●埼玉県教育行政重点施策・指導の重点

**【本年度の重点・努力点】**

- 1 学力向上と授業改善  
・学習規律の確立（暗を聞く態度、返事）  
・専任教員の複数配置と教科担任制の推進  
・1人1人の発見的な利活用（ホワイトボード、キョウジキ）  
・読書活動の推進（毎週第2土曜日は読書の日）
- 2 豊かな心の育成  
・「あいさつの町 石神」プロジェクトの推進  
・道徳教育の充実・児童会活動の充実  
・保護者・地域等の外部人材の活用  
・学校農園等を活用した自然とのふれあい  
・芸術とのふれあい（校内音楽会、芸術鑑賞教室等）
- 3 体力向上と健康づくり  
・体育的行事の実施・外遊びの奨励  
・健康教育、心の健康、食育の充実
- 4 学校課題研究（令和7～9年度）  
・学び続ける児童の育成
- 5 生徒指導・教育相談  
・児童理解の視点に立った組織的な対応  
・いじめ被害への適切な対応（思いのある学級づくり）  
・小登校児童、相談室登校児童への適切な支援  
・組織的な教育相談の実施・他機関との連携
- 6 特別支援教育  
・即の視点を取り入れた授業や教室環境の工夫  
・発達支援学級の学びの充実・道徳指導教室の設置  
・思いやりのインクルーシブ教育（5年）  
・芸術的な読書相談の実施
- 7 安全教育  
・通学班登校の励行、登下校の安全指導  
・避難訓練・引き取り訓練の計画的な実施  
・安全意識の確立と実践
- 8 保護者・地域との連携  
・学校運営協議会の連携・学校応援団の充実  
・町会（花見、名刺、名刺、本名、百石）との地域連携  
・保護者の教育活動への参画（家庭訪問、九九検定等）  
・地域の見守りへの協力要請（民生児童委員等）
- 9 その他  
・学校図書館の活用、読書活動の充実  
・倫理独立委員会の確かな実施（年15回以上）  
・学校配当予算の計画的な執行

**【目指す教師像】**  
・児童一人ひとりを理解し、大切に  
・教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図る教師  
・自分自身をアップデートしながら学び続ける教師  
・連携と協働を大切にして教育効果を高める教師  
・働き方改革の価値を理解し、生き生きと働く教師

・仕事のメリハリ・勤務時間を意識し心身を休める  
・プライベートの充実～仕事と同等に生活を大事にする  
・複数のチャンネル～教職外の立場で生き方の幅をもつ

**【目指す学校像】**  
・児童1人1人が成長できる学校（人づくり）  
・教職員が生き生きと働く学校（魅力づくり）  
・教育環境が整い、楽しい学校（環境づくり）  
・保護者・地域と共に歩む学校（コミュニティ・スクール）

**【目指す児童像】**  
「はぐくもう 石神MIND」  
～自分らしさと思いやり～

「学び合い」  
・人の話をよく聞き、学習規律を身に付け、主体的に学ぶ子  
・確かな学力（読・書・算・語・英）を身に付け、活用できる子  
・自分の考えをもち、他者と学び合いながら、高め合える子  
・多様な教育資源を活用し、豊かに学ぶ子

「心豊かに」 ※能力伸長の土台  
・あいさつや返事、場に応じた言葉遣いのできる子【M】  
・正しい判断力をもち、自分で考えて行動できる子【I】  
・堂々と振る舞い、自分らしさを表現できる子【N】  
・他者を思いやり、人の役に立つ行動ができる子【D】

「たくましく」  
・運動が好きで、進んで体力の向上に努める子  
・丈夫な体を持ち、健康的な生活が送れる子  
・あきらめない心を持ち、粘り強く取り組む子  
・自らの生活を律しながら、安全な生活が送れる子

**【目指す授業像】**  
・学習のねらいと本時のゴールが明確な授業  
・児童の学習活動が明確で活動時間が確保された授業  
・学び合いをとおして、児童が考えを広げたり深めたりできる授業  
・つけたい力と評価場面が明確な授業  
・特別な配慮を要する児童の学びに寄り添う授業  
・教育資源を効果的に活用し、学びに生かす授業

**M: 礼節 I: 自立 N: 高潔 D: 品格**

「MIND」の意味・「MIND」に込めた願い  
【M】 お互いが気持ちよく過ごせるように  
【I】 自分で考えて行動できるように  
【N】 いつも「正々堂々」と「正しい行動」ができるように  
【D】 誰からも尊敬される人になる

全日本柔道連盟HPより引用

祝  
開校  
50周年

新座市立石神小学校  
学び合い 心豊かに たくましく



# 新座市立栗原小学校



=シンボルの木及び花=

木 レンギョウ

花 アゲラタム(和名:カッコウアザミ)

《プロフィール》

キャッチフレーズは「学校大好き!輝くひとみいっぱい 栗原小学校」である。

豊かな緑に恵まれた校庭には、元気に遊ぶ子供たちの姿があふれ、学校・家庭・地域が連携し、学校教育目標「よく考え学ぶ子」「心のゆたかな子」「たくましい子」の実現を目指して教育活動を進めている。

令和7年度より「思いや考えを表現し、資質・能力を高める児童の育成」をテーマに学力向上を目指している。特に、児童の見方・考え方を働かせ、主体的で対話的な学びをとおして資質能力を高める活動を行っている。

また、本校は学習支援や教育環境整備等の学校応援団の活動が盛んで、保護者・地域との関わりをもとに特色ある教育活動を展開している。

校長 古澤 健史

教頭 村石 和久

創立 昭和53年4月1日

児童数 365名

教職員数 24名

学級数 15学級

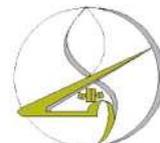
所在地 新座市栗原一丁目5番1号

電話 042-473-7070

FAX 042-477-1625

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



校歌

加藤 省吾 作詞  
瀬下 健二 作曲

一 栗の花房 匂うよに  
チャイムの鐘に 並ぶ顔  
みんな若木だ すくすくと  
伸びよう ぼくたち わたしたち  
希望にもえる 栗原 栗原小学校

二 みどり色濃い 平林寺  
弁天池に わく泉  
みんな若木だ 武蔵野に  
かがやく ぼくたち わたしたち  
紅葉に映える 栗原 栗原小学校

三 こころ豊かに たくましく  
力を合わせ どこまでも  
みんな若木だ 輪になつて  
学ぼう ぼくたち わたしたち  
学べる新座 栗原 栗原小学校

令和7年度  
開校48年目



## 学校大好き! 輝くひとみいっぱい 栗原小学校 ～高めよう 栗原MIND～



新座市立栗原小学校  
グランドデザイン

栗原小キャラクター  
「くりっちー」

### 〈新座市教育大綱〉

#### ○基本理念

はぐくもう 豊かな心へだれもが自分らしく幸せに生きるために～

#### ○基本目標

- 1 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進
- 2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進
- 3 心豊かで健全な青少年の育成の推進
- 4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承
- 5 教育施設の整備・充実の推進

#### ○今日的な課題への対応

- ◇一人一台端末の効果的な活用と想像力の育成
- ◇児童一人一人への理解と支援、不登校対策の充実

- 【乗っ子の誇り】あたりまえにできること
- 【あいさつ・返事】 〇外遊び
- 【時間の使い方】 〇もくもく清掃

#### 【学校経営方針】

- ～ 栗原小学校の子供たち一人一人の  
最適な学びのために ～
- 1 学校教育目標を全ての教育活動の指針とする。
  - 2 課題意識をもち、常に点検・評価しながら、その解決に努める。
  - 3 児童に個別最適な学びの機会を提供し、その資質・能力の伸長に努める。
  - 4 豊かな人間性を育む教育環境の整備・充実を努める。
  - 5 コミュニティ・スクールとして、家庭・地域とともにある学校を目指す。

#### 学校教育目標

- ・よく考え学ぶ子
- ・心のゆたかな子
- ・たくましい子

#### 〈国・県の施策・法令〉

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 第4期埼玉県教育振興基本計画
- 「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」
- 埼玉県教育行政重点施策・指導の重点

#### 保護者・地域の願い

#### 【本年度の重点・努力点】

- 1 学習指導の充実と校内研修の推進
  - ・令和の日本型学校教育の推進
  - ・研究課題の共通理解と校内研修の充実(教員同士の学び合いを核に)
  - ・教科担任制の推進と複数担任制の導入
  - ・ICTを活用した学習活動の充実
- 2 児童理解に基づく生徒指導の推進
  - ・宿を大切に、児童同士の関わりを深める学級経営
  - ・明るい挨拶とはっきりとした返事の徹底
  - ・教育相談の充実(不登校傾向、問題行動への適切な対応)
  - ・特別支援教育の推進と充実
  - ・子供の人権尊重(体罰・暴言威嚇「さん付けの厳罰」)
- 3 健康な体・体力づくりの推進
  - ・体力向上のための環境整備・外遊びの奨励
- 4 豊かな人間性を育む教育の推進
  - ・自主的・創造的な集団活動の充実
  - ・学校図書館活用と読書活動の充実
  - ・「考え議論する道徳」実践・実践記録の蓄積
- 5 豊かな心を育む教育環境の整備・美化
  - ・「整える美しさ」による教室の環境美化
  - ・掲示教育の充実(作品をとおした異学年交流)
  - ・「もくもく、すみすみ15分」清掃の徹底
- 6 保護者・地域との緊密な連携
  - ・懇話会参加率向上、内容の充実
  - ・迅速・誠実・丁寧な対応(職員間の情報の共有)
  - ・学校応援団活動の充実(コミュニティ・スクール)
- 7 教職員の健康の保持推進
  - ・業務の効率化
  - ・授業時間数の見直し
  - ・ワーク・ライフ・バランスの実現
  - ・休憩時間の確保
  - ・リユース、リサイクル、ペーパーレスの推進

## コミュニティ・スクール

### 保護者・地域とともにある学校

#### 【目指す学校像】

- ・元気な学校(明るい挨拶と返事、正々堂々とした言動、主体性)
- ・明るく美しい学校(学びが深まる環境、行き届いた連絡、校務透明)
- ・自信と力がつく学校(確かな学力・体力、主体的な学び、学校行事)
- ・保護者・地域とともにある学校(家庭・地域との連携と信頼)

#### 【目指す児童像】

- ・主体的に学ぶ子(主体的に学ぶ態度、思考力・判断力・表現力)
- ・心のゆたかな子(豊かな感受性、認め合い・支え合い)
- ・進んで運動する子(外遊びの奨励、体力向上への取組)

#### 【目指す教師像】

- 1 笑顔で接する教師
- 2 授業で伸ばす教師
- 3 児童一人一人を理解し、伴走する教師
- 4 学び続ける教師
- 5 保護者・地域とともに学ぶ教師

#### 【目指す授業像】

- ・児童が主体となる授業(学びの必要感、一人一人が自分の考えを持ち表現できる)
- ・学び合いのある授業(協働的な学び、言語活動の充実)
- ・めあてと振り返りのある授業(学習内容の明確化、習得の実感)



# 新座市立新座小学校



＝シンボルの木及び花＝

木 さくら  
花 こぶし

《プロフィール》－

旧大正小、旧新座小の統廃合により平成16年4月1日開校。今年度は開校22年目を迎えた。

校舎は旧大正小を使用しており、本校の広く豊かな緑に恵まれた校庭には、元気に遊ぶ子供たちの姿があふれている。

学校教育目標には「よく学び、心ゆたかに、やりぬく子」をかかげ、全教職員が夢と希望のある学校を目指し、一丸となって取り組んでいる。

令和5年度より、新座市教育委員会の研究委嘱を受け、研究テーマを「もっと」があふれる授業の創造として、文教大学 藤森 裕治教授のご指導の下、新座小4CHモデル(choice・challenge・chance・check)を軸として、児童が自ら課題をもち、対話を通して考えを深め、学び続けられるよう授業改善に取り組んでいる。11月には、その成果を発表する。

田んぼや農園等の教育活動や学校環境の整備のサポート等の学校応援団活動を中心とした開かれた学校づくりを推進し、学校と家庭・地域との相互交流を図り、信頼関係の構築に努めている。

校長 小俣 優子  
教頭 吉澤 めぐみ  
創立 平成16年4月1日  
児童数 290名  
教職員数 28名  
学級数 16学級(うち特別支援学級4)  
所在地 新座市新座三丁目4番1号  
電話 048-478-2760  
FAX 048-482-6791  
ホームページ  
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza/>



## 校歌

一	光あふれる やなせ川 桜の色も あたたかに 若木は育つ すくすくと ともに励んで 学びあう	校歌選定委員会 佐藤 秀世 萩原 昌好 瀬下 健二 作曲 監修 作詞
二	緑豊かな 学び舎に 集いてひかる 生命の輪 肩を組みあつて 空みれば 心に力 わきあがる	
三	瞳かがやけ 生き生きと 希望の未来 あふれでる われら求めて 胸はつて 明日に向かい 進もうよ	
	ここは新座 新座小学校 ここは新座 新座小学校 ここは新座 新座小学校	

学校教育目標	◇よく学び(知育) ◇心ゆたかに(徳育) ◇やりぬく子(体育)
目指す学校像	：夢と希望のある学校 「人とかがわり合いながら 地域の中で地域とともに育つ」
目指す教員像	：～全ては子供たちの幸せのために(ウェルビーイング)～ 「寛厳よろしきを得る」ことができる教師(厳しさと優しさのバランス) 【知】人材育成のプロとして研鑽を積み、チャレンジする教師 【徳】豊かな人間性や社会性等、人格的資質を備えた教師 【体】心身の健康管理に努め、子供と積極的にふれあう教師
目指す児童像	：(1) 自ら考え、判断し、主体的に行動できる子 (2) 温かな気持ちをもち、自他を大切にすることができる子 (3) 生きることへ意欲をもち、健康と体力を高めようとする子 (4) 規律正しく、「あたりまえ」のことを「あたりまえ」にできる子 (5) 礼儀正しく人と接することができる子 (6) 地域を大切に、地域とともに育ち、地域に貢献できる子
特色のある学校づくり	(1) 子供たちが主人公になる授業を展開する。(主体的・対話的で深い学び) ・児童の「問い」を大切にされた指導計画と課題づくりをし、子供の「知りたい」「やってみよう」「なぜ」を「学びに向かう力」につなげる。 ・学級、学年、学校という枠を超え「アウトプット」する機会をつくることで、「もっと」があふれる学びを展開する。 (2) 児童の自己効力感、自己有用感を高める学級、学年経営をして心の教育の充実をする。 ・多様性を認め、いじめ・不登校を生まない支持的風土のある学校づくりをする。 ・「小さな成功体験」を積み重ねる場の設定と可視化をして自己効力感、自己有用感を高める。 (3) 学校教育目標達成のため、保護者、地域のアイデアを結集し、自然豊かな地の利を生かした学校教育を推進する。

# 新座市立新座中学校



=シンボルの木及び花=

- 木 くぬぎ
- 花 サルビア

《プロフィール》

開校61周年を迎えた、市内の学校の中でも緑の多い学校である。「クヌギのしるしいたいて」と校歌に歌われているように緑に恵まれており、武蔵野を代表するクヌギ、ナラの雑木林に囲まれている。「強く・明るく・考える」生徒の育成、「未来への扉をひらく学校」を目指して教職員の力を結集し、日々の教育活動を充実させている。平成26年には野火止用水の清掃活動等ボランティア活動の実践を推進し、環境大臣賞を受賞した。活発な部活動や感動溢れる学校行事を展開するとともに、埼玉県内中学校第1号のコミュニティ・スクールとして地域の力を生かし生徒専門委員会と地域の企業の協働による環境整備活動を推進している。



校長 金子 文春  
 教頭 恩田 信久  
 創立 昭和40年4月1日  
 生徒数 478名  
 教職員数 40名  
 学級数 15学級(うち特別支援学級2)  
 所在地 新座市野火止二丁目4番1号  
 電話 048-478-3668  
 FAX 048-482-0131  
 ホームページ  
<http://www.j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

校歌  
 藤山 薩摩  
 一郎 忠  
 作 作

二  
 みはるかす 野火止の原  
 緑あふれる 平林寺の杜  
 希望と夢を 胸にして  
 すこやかに 明日への扉叩くもの  
 強く 明るく 考える  
 生徒われら 讃えよう  
 永遠に 緑に映える

一  
 仰ぎみる 武蔵野の空  
 緑育む 太陽の光  
 クヌギの徽章 いたゞいて  
 たたくましく  
 真理の道を進むもの  
 強く 明るく 考える  
 生徒われら 讃えよう  
 永遠に 緑に映える  
 母校 新座中学校

令和7年度 新座市立新座中学校 スクールデザイン

## 夢と希望をもち、未来への扉をひらく学校

令和7・8・9年度 新座市教育委員会委嘱 研究主題 「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」

↑↑↑ 令和7年度内に決定 ↓↓↓

**強く**

- 責任ある行動をとる自律の姿勢
- 責任感や使命感をもって励む力
- 自分自身で打ち立てた規範意識に従って行動する力

**明るく**

**強く** : 責任ある行動をとる生徒(自律)  
**明るく** : 対立やジレンマに対処する生徒(尊重)  
 地域を愛し社会に貢献する生徒 ※小中一貫  
**考える** : 新たな価値を創造する生徒(創造)

**考える**

- 新たな価値を創造する力
- 今までの経験則に固執せず、「何のため」に立ち返る姿勢
- 課題をもち主体的に解決する態度

**学校経営方針 ※新座中学校は創立61周年!**

教職員の総力を集結し、  
**生徒・教師・地域の幸せ感を生み出す学校をつくる**  
 ~ 生徒がやる気 教師が本気 地域が元気 ~

**地域と共にある学校**

- 県内初コミュニティスクール中学校
- 地域の理想を、学校が実現
- 良い学校は、良い地域を生む
- 小中一貫教育に向けた連携と推進

**教師の授業改善と指導力の向上**

「教えの過剰は学びの過小」「学校の主役は生徒」

- ①教師の臆舌をなくし生徒の主体性を引き出す
- ②課題解決に迫る探究学習、社会と繋がる学び
- ③教育実践者として人格・資質能力・力量向上

**誰一人置き去りにしない指導**

「生徒ファースト」「誰一人置き去りにしない」

- ①生徒の人権を大切に学校の実現
- ②威圧的な指導、型にはめる指導をしない
- ③校則や学校のさまりの柔軟な運用・見直し

**地域や社会から信頼される教職員**

「仕事に意欲とやりがいをもって取り組む」

- ①教師がゆとりを感じる働き方改革の推進
- ②地域、社会に信頼し尊敬される言葉と行動
- ③凡事徹底(時を守り、場を清め、礼を正し、丁寧な言葉遣いを心掛ける)

# 新座市立第二中学校



=シンボルの木及び花=

木 桜

花 パンジー

《プロフィール》

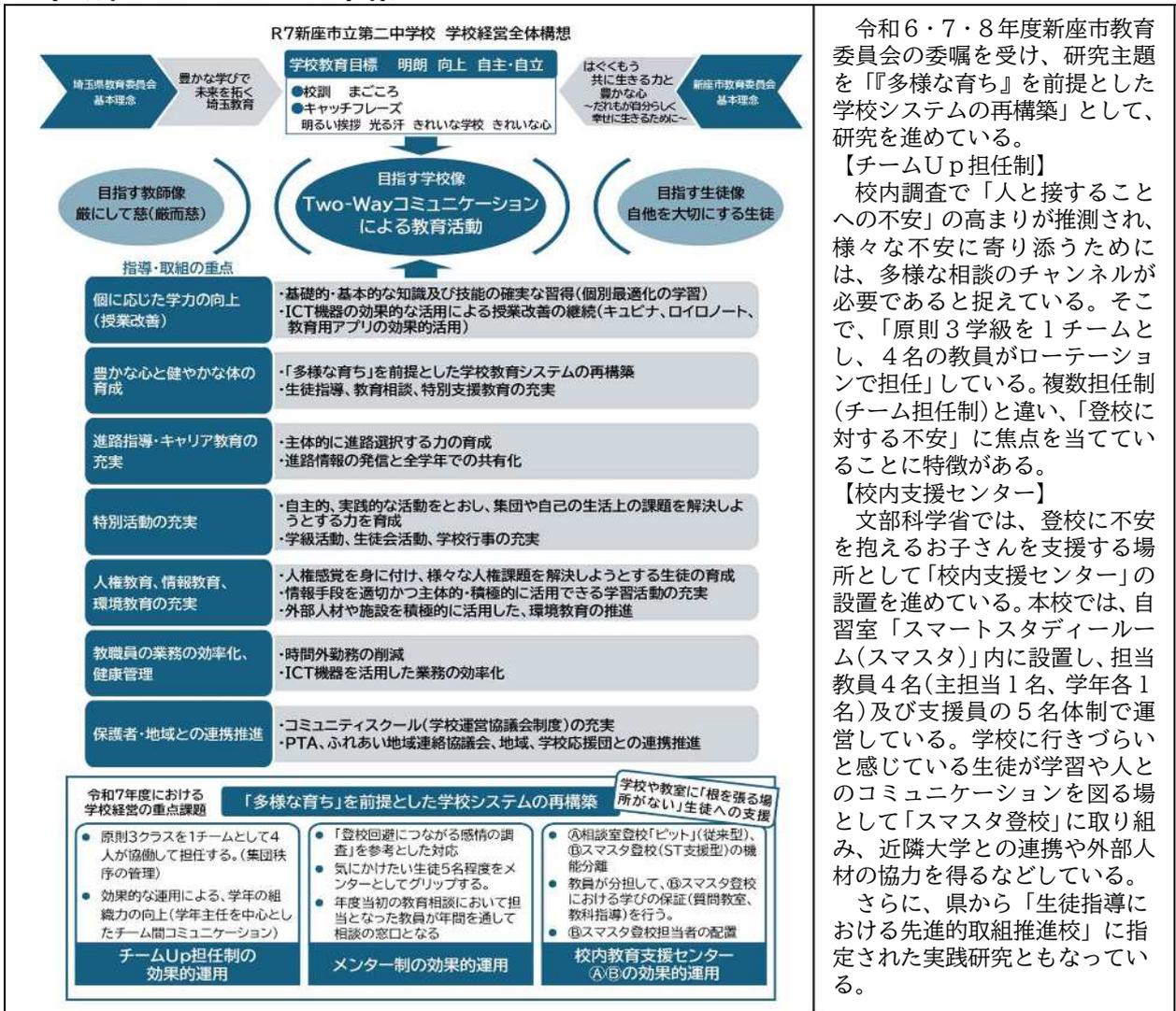
本年度、創立55年目を迎えた。学校教育目標、「明朗、向上、自主・自立」、校訓「まごころ」のもと、目指す学校像を「Two-Way コミュニケーションによる教育活動」として、一人一人の確かな成長を実現するため、ICT機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化、質の向上を目指している。そして、重点目標に①「個に応じた学力の向上」②「ICT機器の積極的な活用」③「豊かな心と健やかな体の育成」④「保護者・地域との連携推進」を掲げ、「明るい挨拶・光る汗・きれいな学校・きれいな心」をキャッチフレーズに、教職員が一丸となって日々の教育活動に取り組んでいる。また、昨年度に行った校内調査、行動観察等を踏まえ、「従来から行われている集団を対象とした一斉指導に適応できない生徒が増えており、様々なひずみが生じている」と捉え、昨年度から「多様な育ち」を前提とした学校システムの再構築に取り組んでいる。



校長 小関 直  
 教頭 山中 あずさ  
 教頭 澤山 敬  
 創立 昭和46年4月1日  
 生徒数 1009名  
 教職員数 78名  
 学級数 31学級(うち特別支援学級5)  
 所在地 新座市野火止七丁目17番10号  
 電話 048-477-1212  
 FAX 048-482-0132  
 ホームページ  
<https://j-daini-c-niiza.edumap.jp/>

校歌  
 中元清義  
 萩原泰家  
 土肥泰家  
 作曲 作詞

一  
 はるかなる歴史の故郷  
 野火止の 緑に映えて ゆるぎなく  
 そびえ輝く学舎は 希望はぐくみいや高き  
 理想を胸に ああわれら  
 明るく集う  
 新座第二中学校  
 開けゆくめぐみぞ深き  
 野火止の  
 母なる大地踏みしめて  
 あおぐ白亜の姿こそ  
 力を伸ばし身を鍛え  
 誓いあらたに ああわれら  
 親しくはげむ  
 新座第二中学校  
 限りなき文化の泉  
 野火止の  
 夜明けさやかに眉をあげ  
 進む教えの庭の窓  
 英知の光創りつつ  
 平和願いて ああわれら  
 愉しく学ぶ  
 新座第二中学校



# 新座市立第三中学校



=シンボルの木及び花=

木 イチョウ

花 スズラン

《プロフィール》

学校教育目標： 自ら学ぶ 心豊かに たくましく

本年度、創立53年目を迎え、これまでの伝統を尊重しつつ変化を続けていく。①生徒一人一人を大切に、生徒の持つ力を伸ばす教育を充実させる<認める・ほめる・励ます>②地域を大切に、地域と連携した教育活動を展開する<コミュニティ>③同僚性（チーム新座三中）を高め、学校の教育力を高める<リスペクト>の3点を柱とした学校経営方針のもと、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。

マリーゴールドのオレンジ色は明るく前向きな三中生にぴったりのスクールカラーです。



校長 石田 和男

教頭 須藤 恵介・田中 仁美

創立 昭和48年4月1日

生徒数 767名

教職員数 57名

学級数 24学級（うち特別支援学級3）

所在地 新座市池田一丁目1番1号

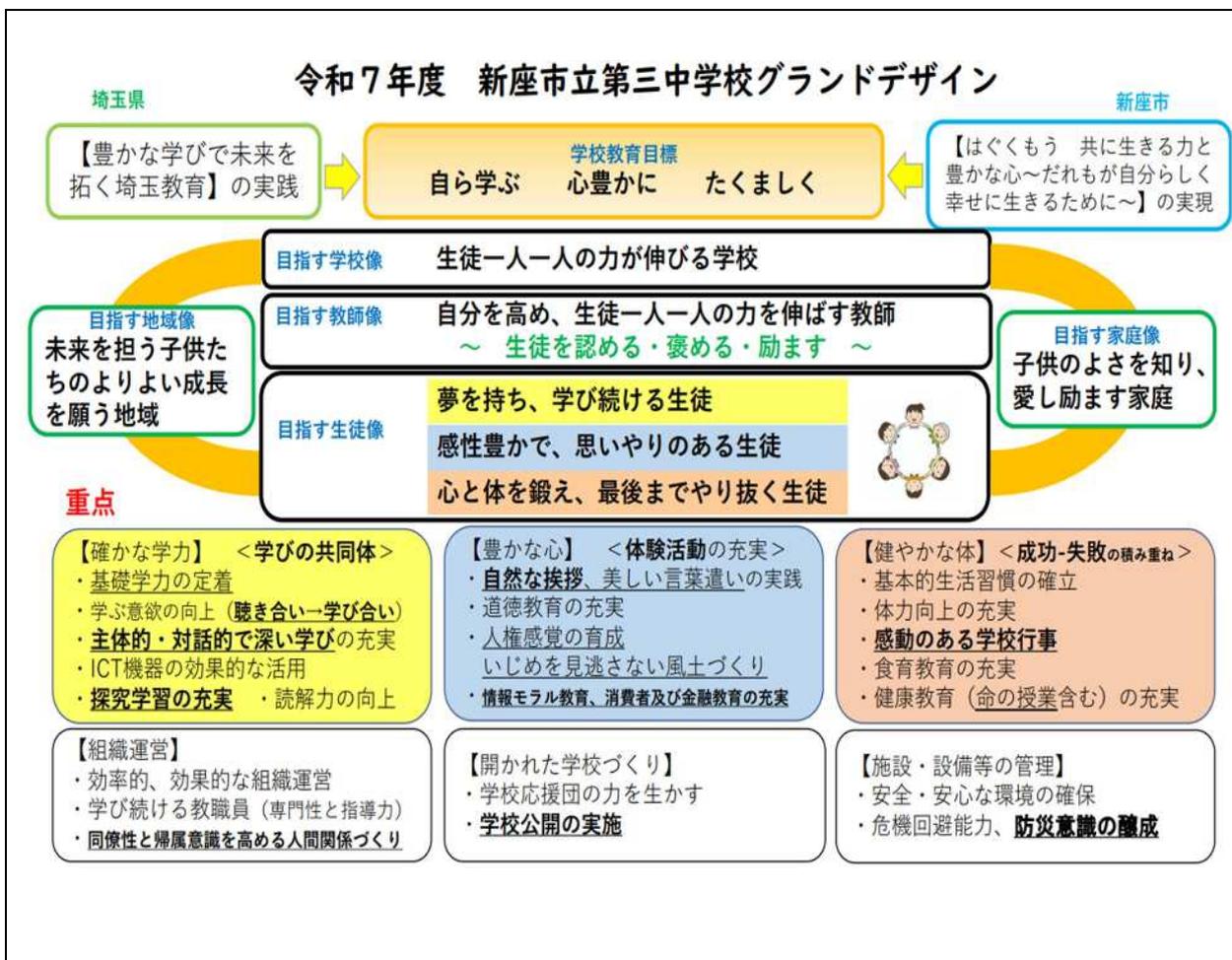
電話 048-479-4052

FAX 048-482-0133

ホームページ

<https://j-daisan-c-niiza.edumap.jp/>

	一	校
	緑織りなす 武蔵野の	歌
	文化のいぶき 日に新た	
	希望に燃えて 意気高く	
	伸び行く 若き この力	
	いざはばたけよ	
	ああ わが 新座三中	
	二	
	遙か山脈 雲白く	
	新座の森の 風さやか	
	光りと愛に 育まれ	
	鍛えし 体 この力	
	いざはばたけよ	
	ああ わが 新座三中	
	今村 まさる	作詞
	深尾 寿子	作曲



# 新座市立第四中学校

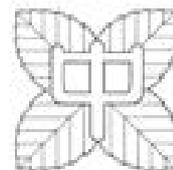


=シンボルの木及び花=

木 けやき

花 こぶし

《プロフィール》



第四中学校の一日は、笑顔と元気な挨拶からはじまる。学校教育目標を「夢に向かって人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」とし、大人になるために必要な知・徳・体の基礎基本や自治的な力を育成することで「社会で通用する人間の育成」を目指す。生徒は、生徒会スローガン「百花繚乱～咲きほこれ 我らが四中生～」のもと、保護者・地域の温かい笑顔に支えられ、充実した学校生活を送っている。

校長 大井 敏彰

教頭 長谷川 久和

創立 昭和51年7月1日

生徒数 486名

教職員数 36名

学級数 17学級(うち特別支援学級4)

所在地 新座市大和田四丁目17番1号

電話 048-477-6053

FAX 048-482-0134

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon/>

校

歌

一  
果てなき空の 武蔵野に  
櫻の若樹 たくましく  
英知を求め いまここに  
理想のともしび かかげつつ  
われら若人 集いて学ぶ  
新座第四中学校

二  
柳瀬の川辺 学び舎に  
こぶしの花の 清らなる  
友情のきずな とこしえに  
自律の意志を きたえつつ  
われら若人 ともに伸びゆく  
新座第四中学校

三  
はるかみる富士 麗しく  
彩り深き もみじ葉の  
ゆたかな心 友垣と  
明日の文化を になうため  
われら若人 未来を望む  
新座第四中学校

池田 文三  
藤島 建夫  
栗山 伊佐雄  
編曲 作曲  
作詞

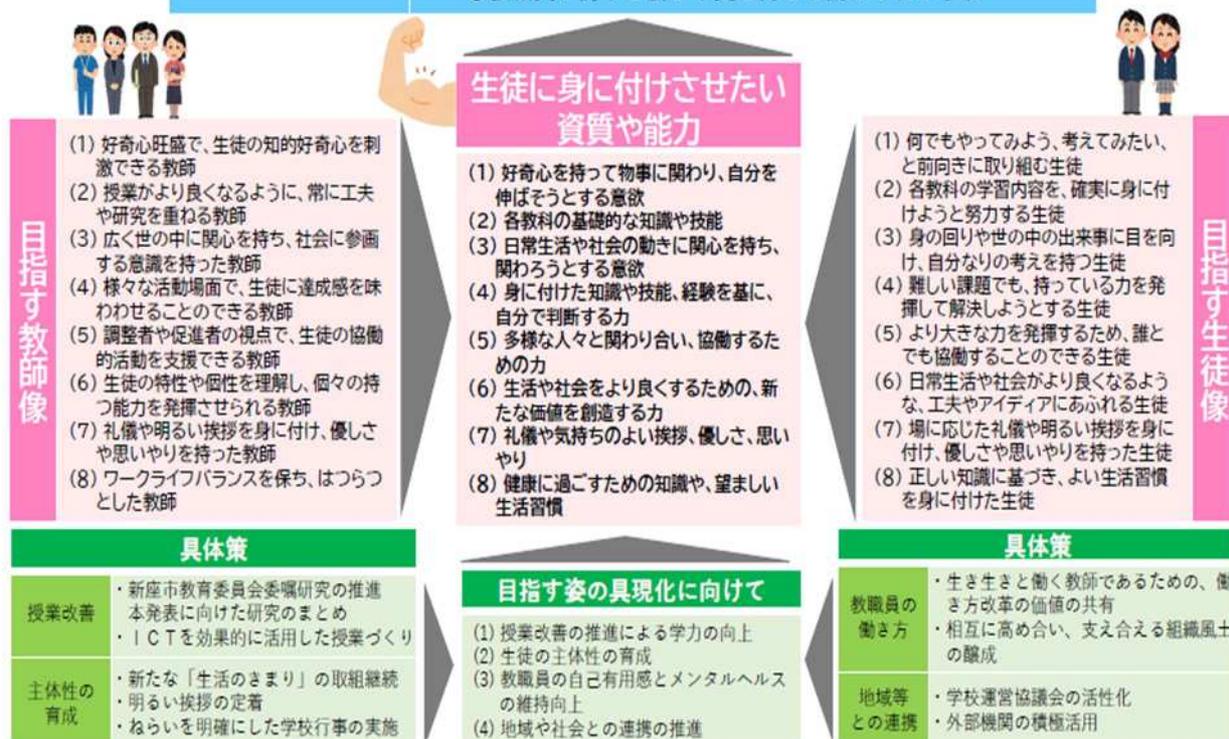
## 令和7年度 新座市立第四中学校グランドデザイン

### 学校教育目標

「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」  
○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○たくましい生徒

### 目指す学校像

- 必要な資質や能力を、確実に身に付けられる学校
- 保護者や地域の期待に応え、信頼される学校
- 教職員が誇りと働き甲斐を持って勤められる学校



# 新座市立第五中学校



=シンボルの木及び花=

木 えんじゅ  
花 ばら

《プロフィール》

校訓「感謝と挑戦」

学校教育目標「友愛・向上・自主自律」

目指す生徒像「自ら考え判断し、行動できる生徒」

キャッチフレーズ「夢と感動、誇りを育て、地域に信頼される学校」

校は、新座市の南西部に位置し、西東京市・練馬区などの東京都に隣接する住宅地にある学校である。近くを流れる黒目川や自然林など自然環境も残っている。学校の教育目標を「友愛・向上・自主自律」とし、地域に信頼される学校づくりを目指している。今年度の指導の重点を「教育活動の効率化・質の向上」として、①令和の日本型学校教育を実現②ICT機器の積極的な活用（情報活用能力の育成）③豊かな心と健やかな体の育成④保護者・地域との推進連携の4つの柱を定め全教職員が一体となって取り組んでいる。また、地域、後援会、PTA、学校応援団など多くの方に学校の教育活動のご支援をいただいている。

授業では、研究主題を【「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現～ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して～】として、学習指導要領を踏まえ、ICTを積極的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化し充実させることで、主体的・対話的で深い学びの授業の実現を目指した研究を推進している。今年度も引き続き、情報モラル教育の充実、情報活用能力（ネットリテラシー）の育成、文章入力スピード検定の実施など、ICTを活用させた個別最適な学びを充実させ学力向上に向けての取組を加速させる。



校長 伊藤 進

教頭 児玉 壮史

創立 昭和52年4月1日

生徒数 747名

教職員数 44名

学級数 22学級（うち特別支援学級3）

所在地 新座市野寺四丁目8番1号

電話 048-478-2010

FAX 048-482-0135

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daigo/>

校

歌

光が あります ゆたかです  
緑が あります 静かです  
流れが あります きれいです  
ここは 武蔵野 のどかな台地  
新座 新座  
明日へ 伸び行く わが町だ  
学校に 集まる生徒は みんな  
たくましく 健やかな  
希望 あふれる 精神と身体  
新座五中 新座五中  
わたしたちの 新座五中の わたしたち

風早 美樹 作詞  
藤山 一郎 作曲

## 令和7年度グランドデザイン 新座市立第五中学校

埼玉県教育委員会  
基本理念  
豊かな学びで  
未来を拓く  
埼玉教育

校訓  
「感謝と挑戦」  
学校教育目標  
「友愛 向上 自主自律」

新座市教育委員会  
基本理念  
はぐくもう  
豊かな心  
～だれもが自分らしく  
幸せに生きるために～



目指す生徒像  
「自ら考え、判断し、行動できる生徒」  
○豊かな心を持ち、生命や人権を尊重する生徒（友愛）  
○より良い学校生活を目指す生徒（向上）  
○自発的に正しく考え、行動を律する生徒（自主自律）

目指す学校像  
「自信と誇りにあふれる学校」  
○心のこもったあいさつを大切にしている生徒を育てる学校（友愛）  
○地域、保護者に信頼され連携・推進する学校（向上）  
○社会の急激な変化に迅速に対応できる学校（自主自律）



目指す教師像  
「教育は人なり」  
○明るく、人間性豊かな教師  
○教育に対する情熱と使命感をもつ教師  
○幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師  
「誠実・的確・迅速」

「夢と感動を育て、地域に信頼される学校」

【目標達成のための方策】  
一人一人の確かな成長を実現するため、ICT機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化・質の向上を目指す。  
1 個に応じた学力の向上（令和の日本型学校教育を実現）  
①授業改善（子供の学び方改革）「誰一人取り残すことのない授業」  
「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（45分間授業）  
②自律的に学ぶことのできる生徒の育成  
自ら設定した目標に向け必要な学習内容や方法を決定し、学び続けていく学習者を育成。  
③読解力、文書力・作文力（書く力）の向上  
国語科及び全ての教科で読解力の向上を推進する。新聞活用による読解力の向上（社会科公民）。国語科授業と NIESUT(Newspaper in Education skill up Time) ニースタイムの実施、英語科の英作文指導の充実。  
2 ICT機器の積極的な活用（情報活用能力の育成）  
①情報活用能力の育成  
世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力を育成する。情報活用能力を全教育活動にて系統的に育成する。（別紙）  
②グローバル力、プレゼンテーション能力等の育成  
子供たちが学校で学ぶことは、社会と切り離されたものではなく、変化を見据えて、生きていくために必要な資質・能力を育む。  
③効果的な資料、プレゼンテーション能力の育成。④論理的思考能力の育成。⑤コミュニケーション能力とグローバル力の育成。  
3 豊かな心と健やかな体の育成  
①豊かな心の育成  
①道徳教育の推進、充実 ②生徒指導の充実 ③情報モラル教育の推進 ④心のこもったあいさつの推進  
②教育相談の充実、いじめ防止、不登校生徒を削減  
①多様な学びの実現（教育相談室・アスサポルームによる多様な学びの場の設置②いじめの早期発見・対応。③オンライン授業等による学びの確保。④不登校生徒等の情報共有と改善に向けての具体策の検討、実施。⑤他の関係機関との連携推進。  
③ 体力の課題解決と健康教育の推進  
4 地域・家庭（PTA）・学校が一体となった教育の推進  
①学校運営協議会制度の充実。②学校情報の積極的発信（ホームページに生徒作成の動画のアップ）。③地域の教育資源を有効活用した教育活動の推進。④校区内幼稚園と保育交流（片山幼稚園と美鈴幼稚園）

# 新座市立第六中学校



=シンボルの木及び花=  
 木 けやき  
 花 マリーゴールド  
 《プロフィール》



「自主」「責任」「明朗」の学校教育目標を掲げ、新座市立第六中学校は、武蔵野の面影が残る雑木林に囲まれる豊かな環境の中、昭和55年(1980年)に開校し、令和7年で45周年を迎えました。

校歌にある「やさしい瞳に守られて」の通り、生徒たちは保護者や地域の方々に見守られながら、日々、キャッチフレーズ「夢・自信・誇り」を胸に、学習や行事、部活動に励んでいます。

教職員は、「よく考え、進んで学習する生徒 責任を重んじ、規律正しい生徒 明るくたくましく、心豊かな生徒」の育成を目指した学校づくりを推進するために、一丸となって毎日の教育活動に取り組んでいます。

校長 中島 豊  
 教頭 石川 周  
 創立 昭和55年4月1日  
 生徒数 666名  
 教職員数 39名  
 学級数 21学級(うち特別支援学級3)  
 所在地 新座市堀ノ内三丁目11番1号  
 電話 048-478-2764  
 FAX 048-482-0136  
 ホームページ  
<http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku/>

## 校歌

輝く若葉の青春よ  
 いま 燃えあがれ 武蔵野に  
 ああ われら 新座の仲間  
 あの雲の湧く かなたまで  
 伸ばそうよ 両手を  
 広げよう 希望を  
 大きな響を越えて なお  
 心に溢れる若い夢  
 いま ほとばしれ 野火止に  
 ああ われら 新座の仲間  
 豊かな大地 踏みしめて  
 歩こうよ みんなで  
 究めよう 道を  
 明るい未来へ 今日も また  
 やさしい瞳に守られて  
 山桜立つ この校庭は  
 いつの日も ふるさと  
 われらの第六中学校

中村 千栄子 作詞  
 岩河 三郎 作曲



キャッチフレーズ  
**～ 夢 自信 誇り ～**

令和7年度グランドデザイン  
 新座市立第六中学校

**学校教育目標** 自主 責任 明朗

**目指す学校像** 「夢・自信・誇り」を育む、  
 教職員が生き生きと働く、  
 家庭・地域に信頼される学校

**目指す生徒像** よく考え、進んで学習する生徒 責任を重んじ、規律正しい生徒 明るくたくましく、心豊かな生徒

**目指す教師像** 「教育愛」を持ち  
 生徒と共に歩む教師 生徒に確かな学力を身に付けさせる教師 信頼される教師

【国・県の施策と法令】  
 日本国憲法・教育基本法  
 学習指導要領  
 第4期埼玉県教育振興基本計画  
 「豊かな学びで未来を拓く  
 埼玉教育」  
 埼玉県教育行政重点施策

【にいざ学校教育プラン】  
 「はくくもう  
 共に生きる力と豊かな心」

- ・学力の定着
- ・豊かな心の育成
- ・体力の向上
- ・家庭・地域との連携
- ・文化芸術の推進

コミュニティ・スクール  
 としての活動

- 学校運営協議会の定期的な開催
- ・学校行事や授業の公開
- ・地域の人材による支援
- 学校応援部の取組
- ・校内の緑化に係る環境整備活動
- ・地域の防犯や交通安全の見守り活動

**第六中学校の教育活動の展開**

**自分から挨拶**

- 生徒自ら発信する主体的な取組
- ・生徒会実行委員会による朝の挨拶運動
- ・生徒も教員も「さきに」挨拶する取組
- 定期的な講話
- ・学校朝会や学級活動、道徳の授業等での啓蒙

**「六中授業ベーシック」の推進と授業改善による学力向上**

- 「教師は授業で勝負する」
- ・「分かる授業、楽しい授業、出番のある授業」の実践
- 主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善
- ・指導と評価の一体化の推進

**積極的な生徒指導による安定した学級づくり**

- 生徒理解に努める基本的姿勢
- ・一人一人の生徒を大切に考えた支援の展開
- ・子供との対話の重視
- ・保護者の話をよく聞く。
- 生徒指導部会での共有
- ・担任だけでなく抱えない。
- ・他クラス、他学年の生徒に関心をもつ。

**体力の向上と食育の充実**

- 基礎体力の維持、向上
- ・新体力テストを踏まえた体力づくり
- 昼休み等の運動の奨励
- ・給食を柱とした食育活動
- ・携わる人々や環境との関わりについて興味・関心をもたせる。
- ・栄養的価値等の学びの実践

**家庭・地域との信頼関係の構築**

- 家庭の状況を尊重した個別対応
- ・保護者に寄り添う姿勢
- 学校運営協議会との連携
- ・授業参観等による教育活動の公開
- ・学校における地域の人材による支援
- 学校HPによる広報
- ・「六中アルバム」コーナーでの学校の様子の周知

92

## 4 学校保健

学校は教育の場として、また児童生徒等が集団生活するところとして、人的、物的にも最も健康に適した環境であることが必要である。また児童生徒等の健康は、学校教育における学習能力向上の基礎でもあり、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する基本的要件の一つといえる。このように学校保健の役割はきわめて重要であり、心身共に健康な児童・生徒の育成に努めるため、本市では児童生徒に対し、身長、体重の測定、四肢の状態、内科、歯科、耳鼻科、眼科の定期健康診断及び細菌検査、心臓検診、脊柱側湾症検診、尿検査等を実施し、結核健康診断については、平成15年度から結核予防法が改正されたことにより、問診と定期健康診断の結果を基に結核対策委員会で検討し、精密検査が必要と思われる児童・生徒に対してエックス線直接撮影を実施している。

また、教職員に対しては、結核健康診断及び教職員健康診断等を実施し、学校保健の指導的立場にある教職員の健康管理を推進している。

### 各種検査結果一覧（令和6年度 定期健康診断）

#### ○ 結核検診

区 分	対象人数	検討者（人）	精密検査 実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	8,459	19	14	14
中 学 校	4,191	3	1	1
合 計	12,650	22	15	15

#### ○ 心臓検診（小学校1年生、中学校1年生及び経過観察者）

区 分	実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	1,287	1,239
中 学 校	1,396	1,315
合 計	2,683	2,554



○ 脊柱側弯症検診（小学校5年生、中学校2年生及び前年度未受診者）

区 分	実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	1,491	1,431
中 学 校	1,367	1,281
合 計	2,858	2,712

○ 尿検査（全校児童・生徒）

区 分	実施者（人）	一次陽性者（人）
小 学 校	8,401	122
中 学 校	4,051	204
合 計	12,452	60

